



# 会社説明会

2025年12月

株式会社九州フィナンシャルグループ  
Kyushu Financial Group, Inc.

東証プライム上場 証券コード:7180



**I 2025年9月期 決算概要**

1. 決算概況	P.4
2. 中間純利益の増減要因	P.5
3. 資金利益	P.6
4. 貸出金	P.7
5. 貸出金利構成	P.8
6. 総預金	P.9
7. 有価証券	P.10
8. 円債・外債の状況	P.11
9. 役務取引等利益	P.12
10. 経費	P.13
11. 与信費用と金融再生法開示債権	P.14
12. 自己資本比率	P.15
13. 業績予想	P.16

**II 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取り組み**

1. 現状分析（当社株価・PBR・ROEの推移）	P.18
2. 当社グループが目指す姿	P.19
3. PBR改善ロジックツリー	P.20
4. ROE向上施策の取り組み状況	P.21

**III 第4次グループ中期経営計画「躍進」の進捗状況**

1. 2030年に目指す「共創ビジョン」の進捗	P.24
2. 第4次グループ中期経営計画の概要	P.25
3. 【基本戦略1】地域経済の成長に向けたコア事業の強化	P.26
4. 【基本戦略2】未来を創る地域価値提供の取り組み加速	P.29
5. 【基本戦略3】持続的成長に向けた強固な経営基盤の確立	P.30

計数資料



# 2025年9月期 決算概要

株式会社九州フィナンシャルグループ  
Kyushu Financial Group, Inc.



# 1. 決算概況

九州フィナンシャルグループ

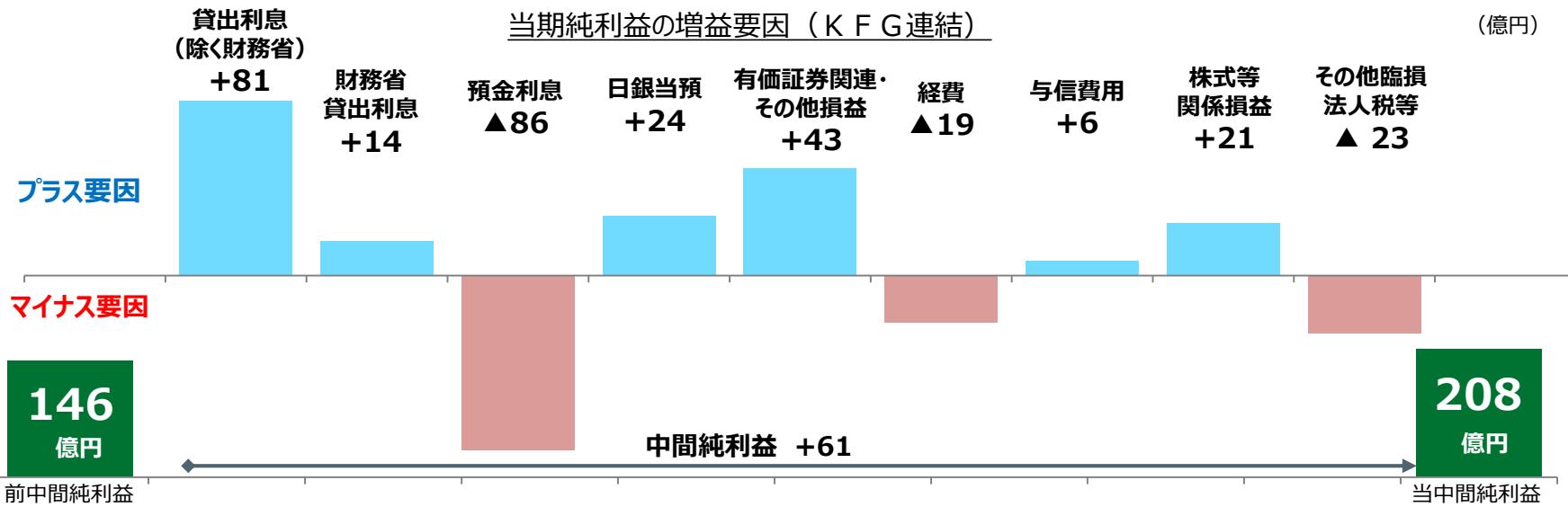
## 資金利益や株式等関係損益がけん引し、前年同期比で增收増益・過去最高を更新

損益状況	KFG連結			2行合算 (億円)
	2025/9	前年同期比	2024/9	
経常収益	1,225	138	1,086	1,011 138 872
業務粗利益	647	76	570	606 79 526
資金利益	547	53	493	558 58 499
役務取引等利益	91	4	87	79 4 74
その他業務利益	7	18	▲ 11	▲ 31 16 ▲ 47
(うち国債等債権損益)	▲ 4	▲ 5	1	▲ 4 ▲ 5 1
経費（▲）	419	19	400	381 18 363
コア業務純益	231	63	168	228 67 161
一般貸倒引当金繰入額（▲）	–	–	–	▲ 3 3 ▲ 6
業務純益	227	57	170	227 58 169
臨時損益	72	30	42	72 36 36
不良債権処理額（▲）	2	0	1	10 13 ▲ 3
貸倒引当金戻入益	9	6	2	16 9 7
株式等関係損益	51	21	30	55 25 30
経常利益	299	87	212	300 94 205
特別損益	▲ 0	0	▲ 1	▲ 0 0 ▲ 1
中間純利益	208	61	146	211 67 143
(与信費用)	▲ 7	▲ 6	▲ 1	▲ 9 ▲ 7 ▲ 2

## 2. 中間純利益の増減要因

九州フィナンシャルグループ

利回り改善による貸出利息や株式等関係損益の増加により、前年同期比で増益



### <主なプラス要因>

- 貸出利息、財務省貸出利息 +95億円  
　　貸出金利回り +0.19%
- 有価証券関連・その他 +43億円  
　　利息等+16、外貨費用他(▲)▲27 他
- 株式等関係損益 +21億円  
　　旧政策株の売却 +21億円 他

### <主なマイナス要因>

- 預金利息 (▲) 86億円  
　　預金等利回り +0.16%
- 経費 (▲) 19億円  
　　人件費+12(ベア等)  
　　物件費+ 6(システム保守費+2、事務委託費+2、広告宣伝費+1 他)

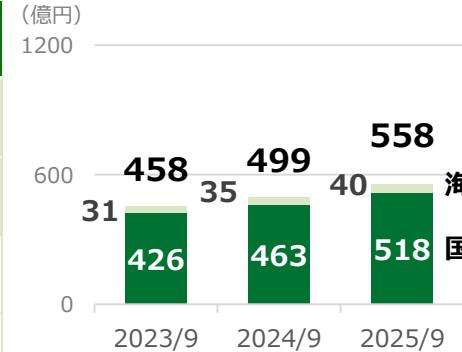
## 資金利益は、貸出金利息・有価証券利息の増加が寄与し前年同期比で増加

資金利益の状況（2行合算）

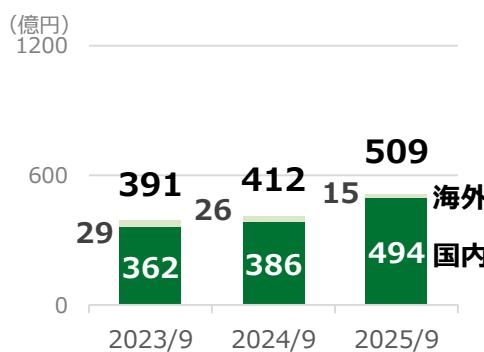
	2023/9	2024/9	2025/9	前年同期比
<b>資金利益</b>	458	499	558	58
<b>国内部門</b>	426	463	518	54
うち貸出金利息	362	386	494	108
うち有価証券利息	75	82	86	4
うち資金調達コスト(▲)	12	25	112	86
<b>国際部門</b>	31	35	40	4
うち貸出金利息	29	26	15	▲ 11
うち有価証券利息	71	80	95	15
うち資金調達コスト等(▲)	70	71	71	▲ 0

(億円)

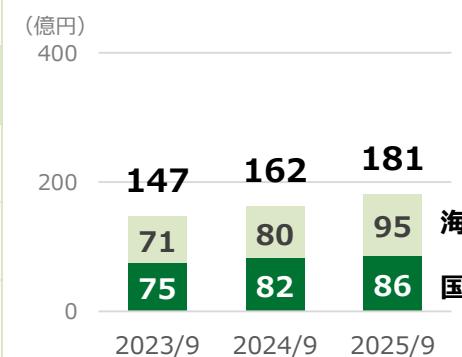
資金利益推移（2行合算）



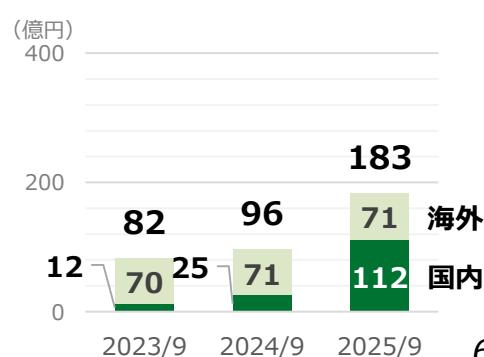
①貸出金利息推移（2行合算）



②有価証券利息推移（2行合算）



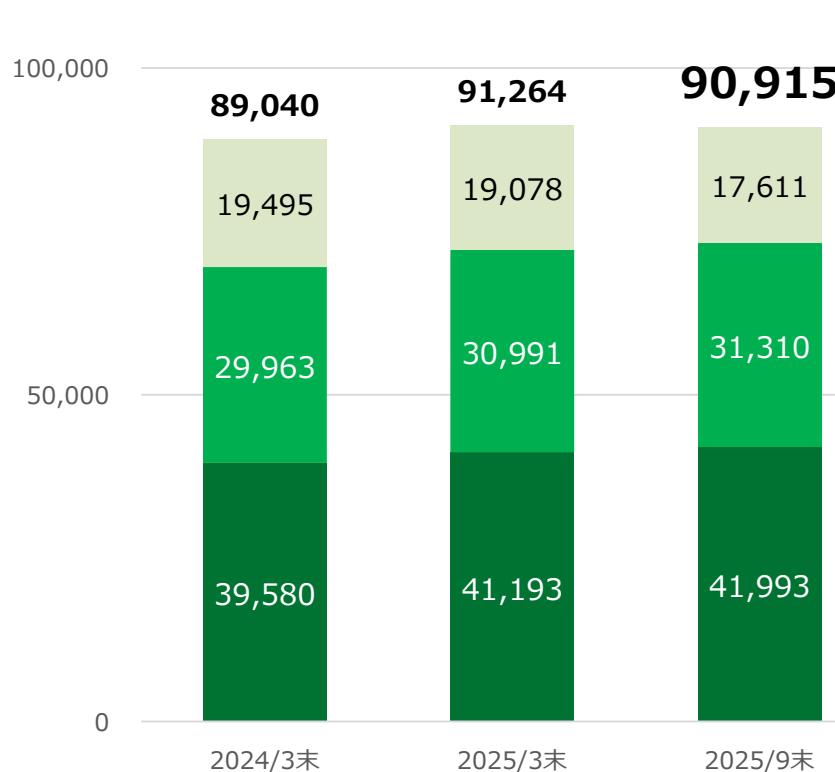
③資金調達コスト（2行合算）



## 公共向け貸出の減少により貸出残高は減少するも、法人・個人向け貸出は増加

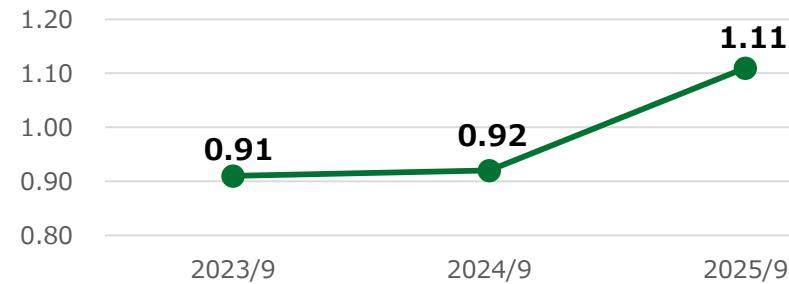
(億円)

貸出金残高の推移（2行合算 残高）



(%)

貸出金利回りの推移（2行合算）



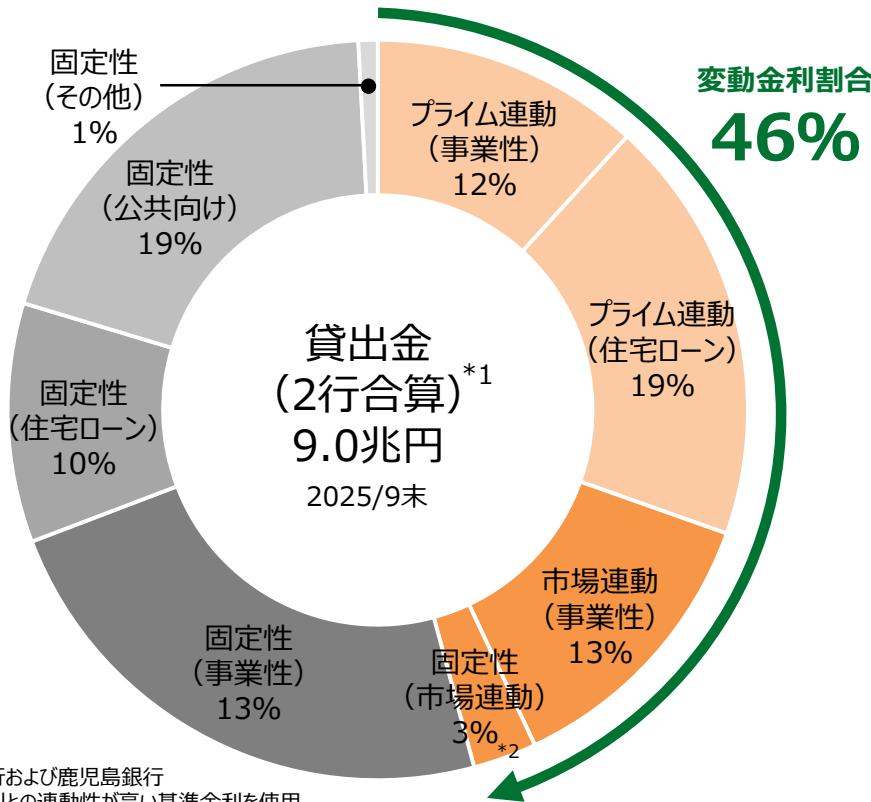
(億円)

熊本県内法人向け貸出金残高の推移（残高）

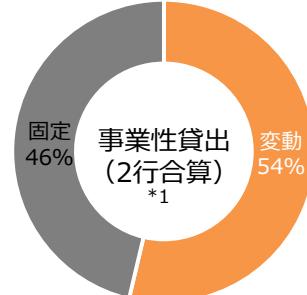


## 変動金利は4割、政策金利の利上げにより着実に収益に貢献

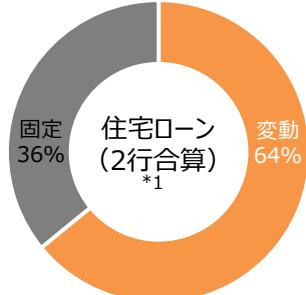
当社の貸出金利構成（2025/9末）



事業性貸出



住宅ローン



### 政策金利の利上げによる影響試算

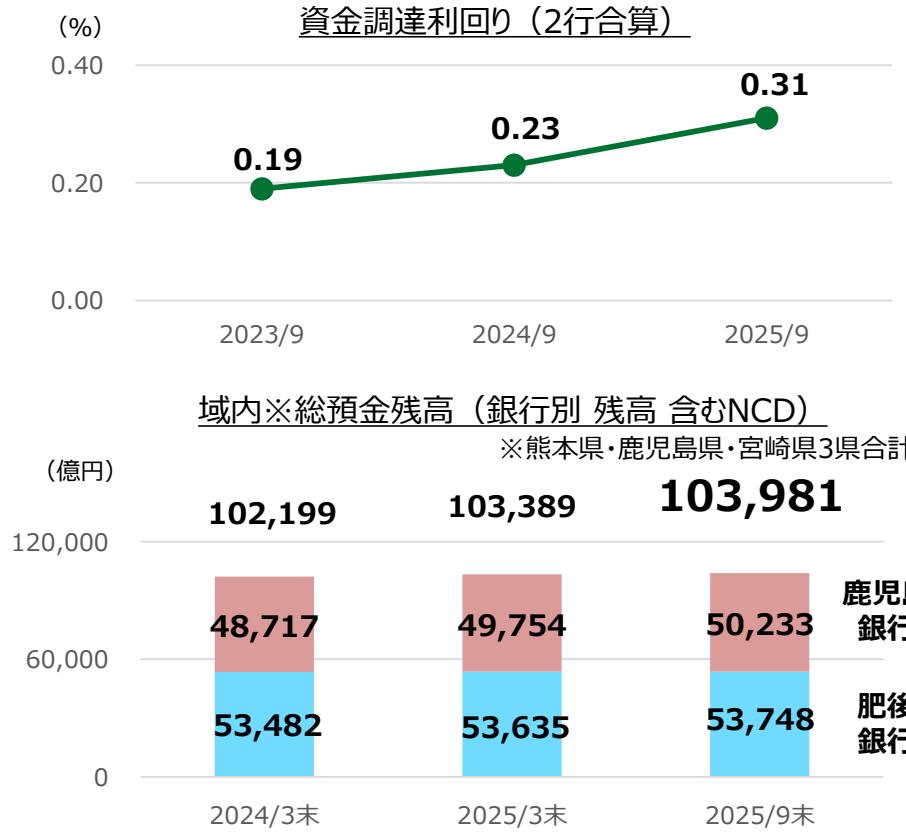
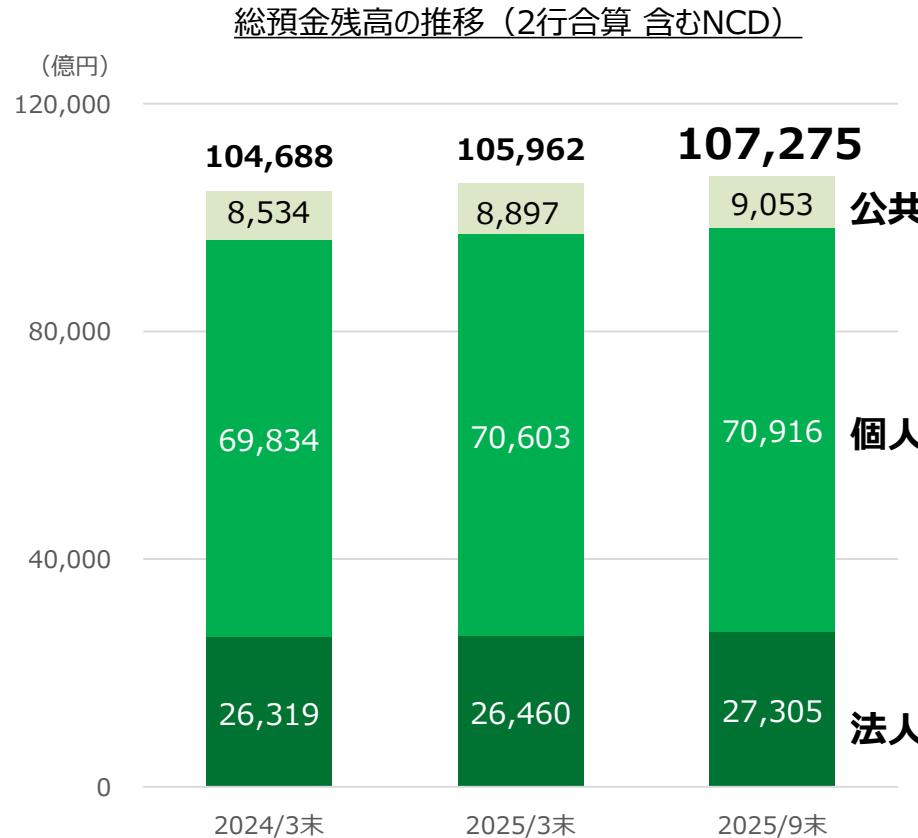
政策金利が0.25%上昇した場合の、  
①貸出金利息、②日銀預け金利息、③預金利息による影響

### 金利引上げから1年間の影響

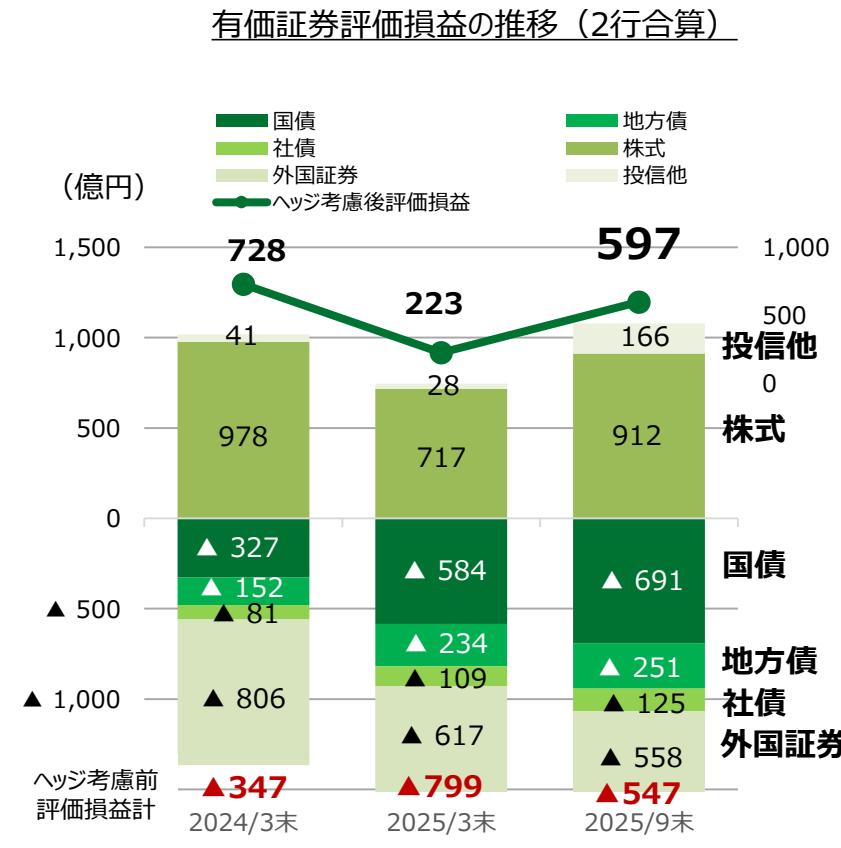
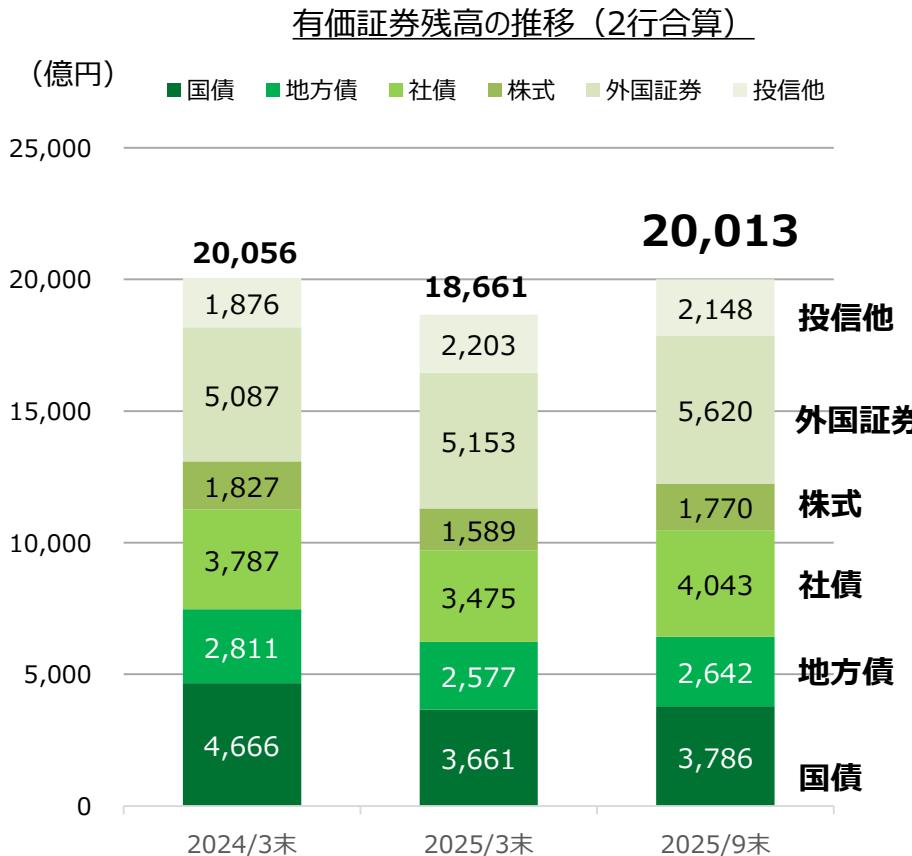
（業務粗利益） + 約40億円

- 2025/9末残高（2行合算）をもとに金利上昇をフルスライド
- 預本金利は市場金利の引き上げに伴って上昇すると想定
- その他条件は、政策金利が維持された場合と同条件

## 総預金残高は堅調に増加、粘着性のある地元預金が着実に増加



## 金利上昇局面でターミナルが不透明な状況下のため、抑制的に運用



## 円債・外債ともに入れ替えを進め、デュレーション・金利リスクをコントロール



※ 売買目的有価証券及び満期保有目的債券を除く

※ 外国籍投信、ユーロ円債、サムライ債を含む

### 金利上昇時の影響（有価証券評価損益への影響額）

パラレルに  
10bps上昇  
した場合の  
試算値

円債 ▲14億円

外債 ▲5億円

※1 売買目的有価証券及び満期保有目的債券を除く

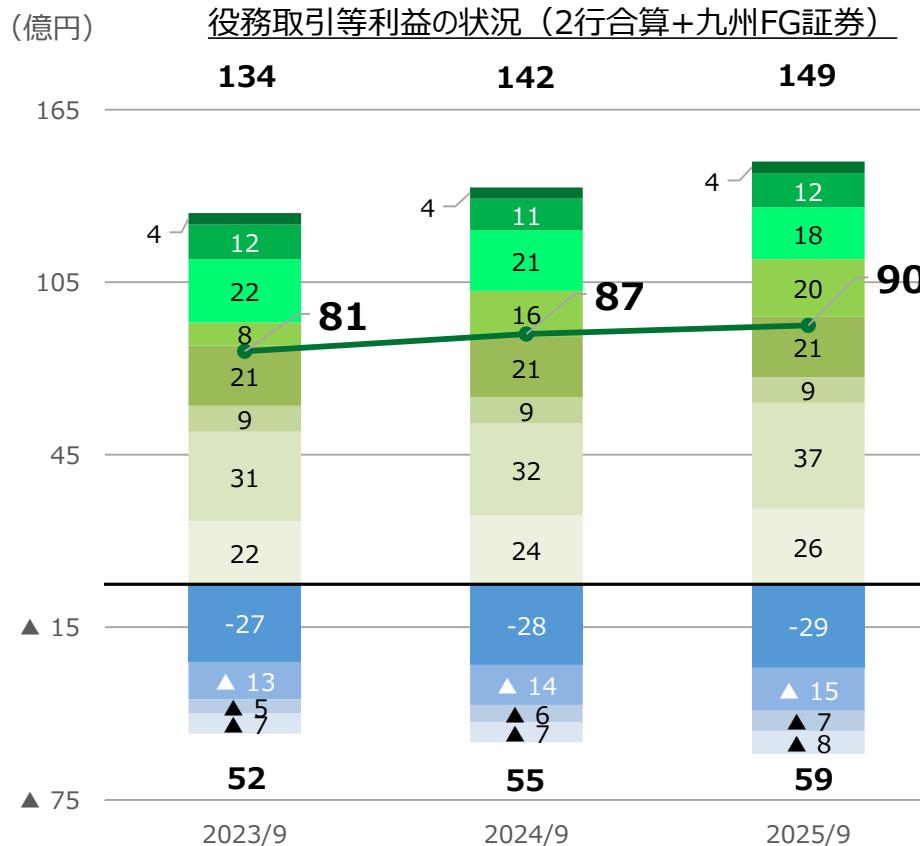
※2 金利スワップ・債券ペア型ファンドを含む

### 金利期間別影響額

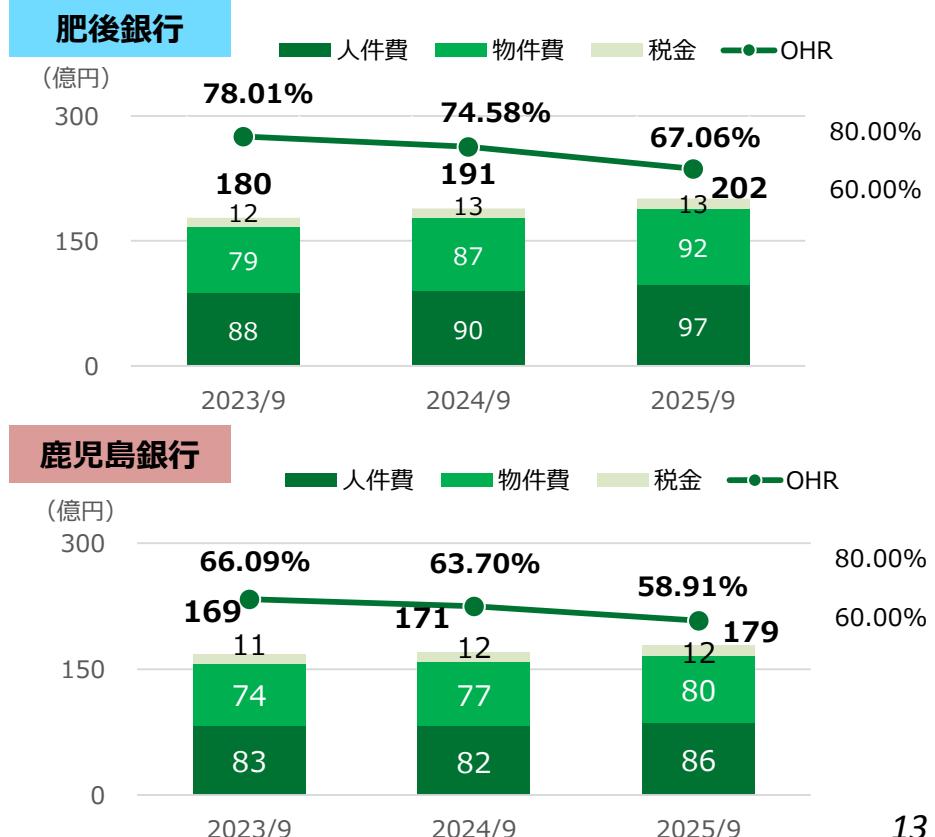
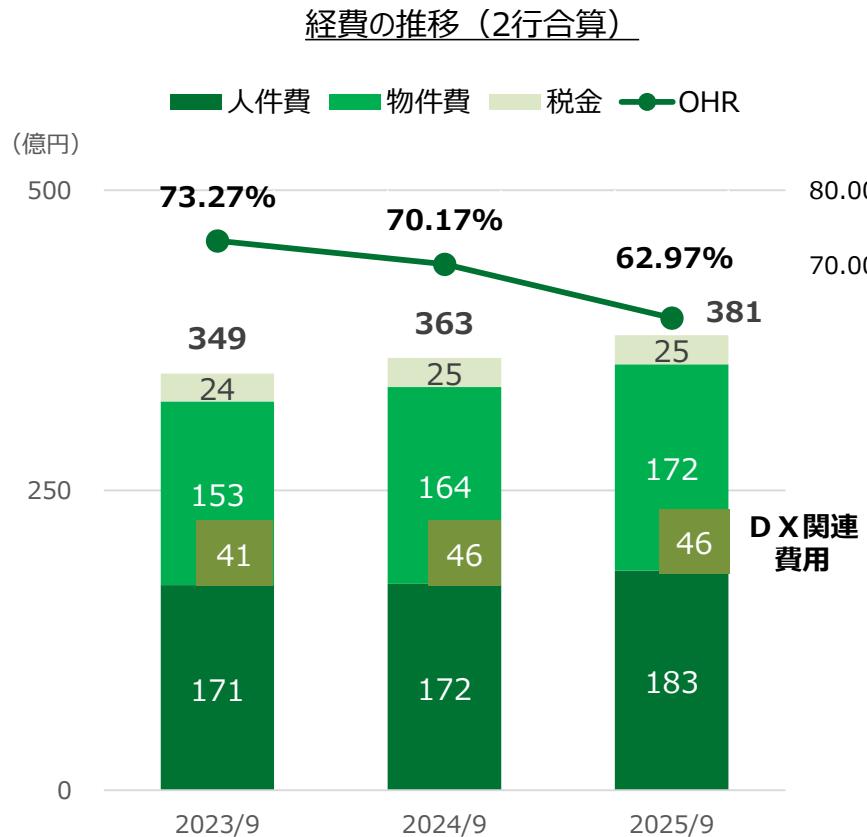
	1年未満	1~3年	3~5年	5~7年	7~10年	10年超
円債	▲0.9	▲4.0	3.7	▲1.8	1.4	▲11.8
外債	▲0.4	▲1.4	▲0.6	▲1.1	▲0.6	▲0.4

## 9. 役務取引等利益

役務取引等利益は、ローン取扱手数料の増加等がけん引し前年同期比で増加

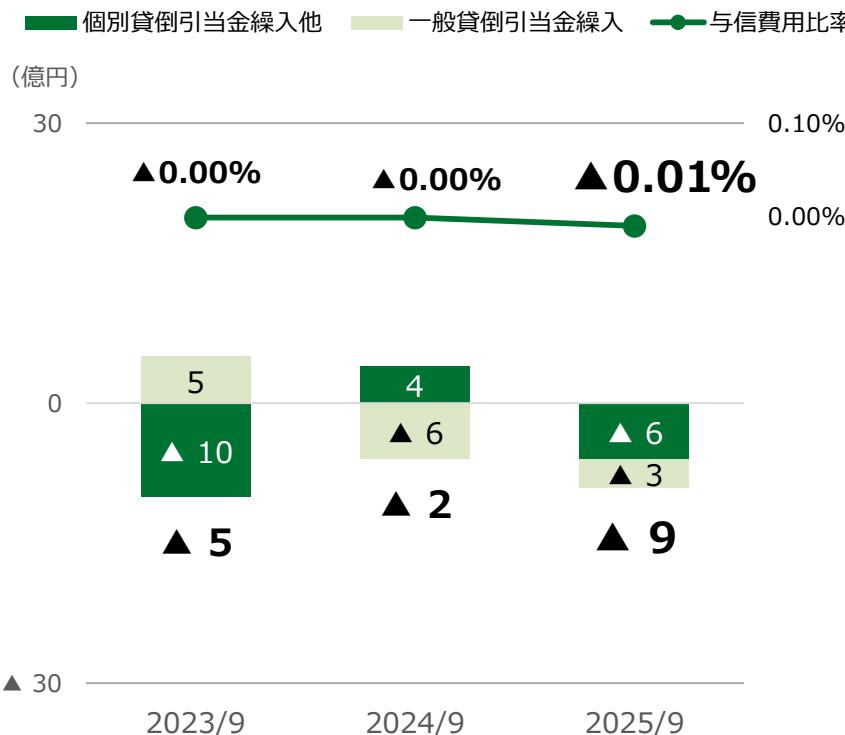


## 経費は前年同期比で上昇するも、業務粗利益の増加によりOHRは改善傾向

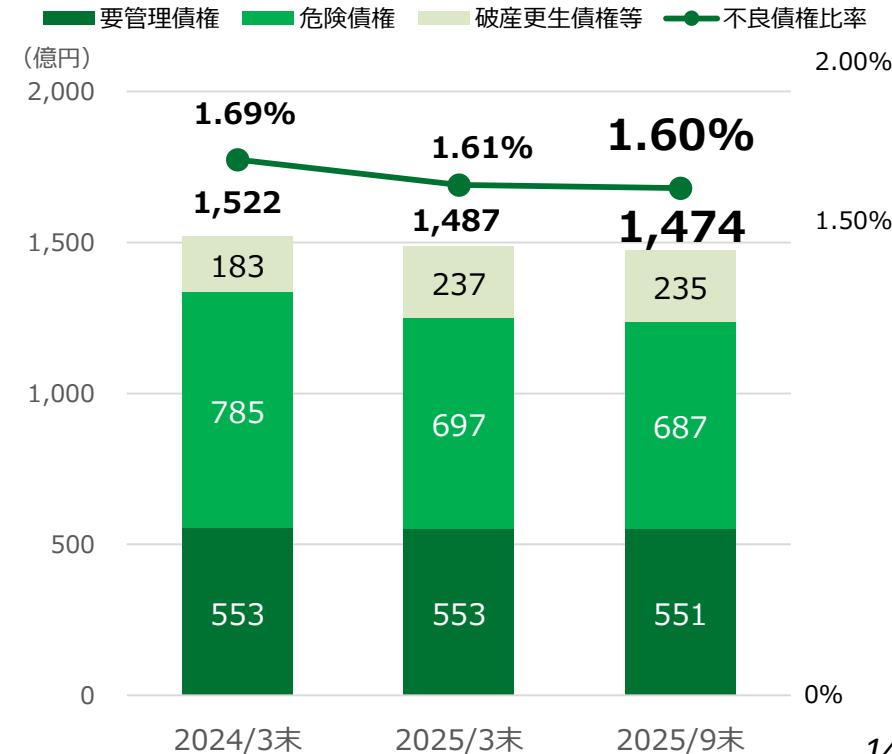


## 与信費用および金融再生法開示債権残高・不良債権率ともに、前年度比で減少

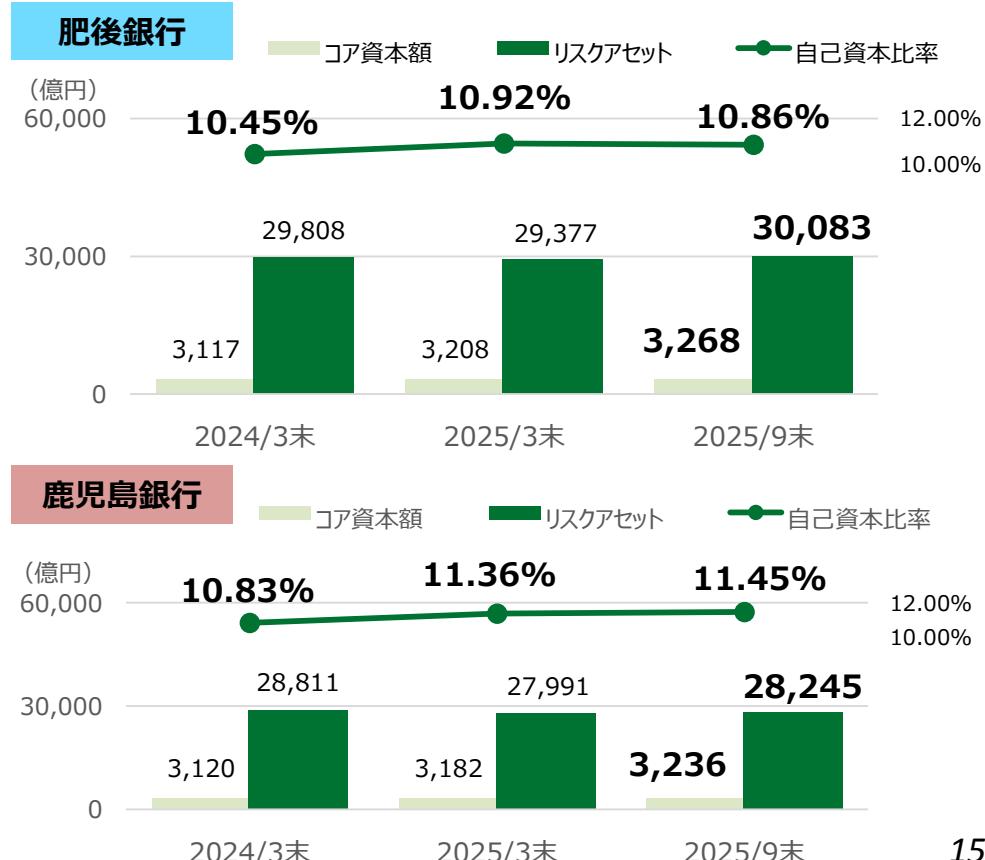
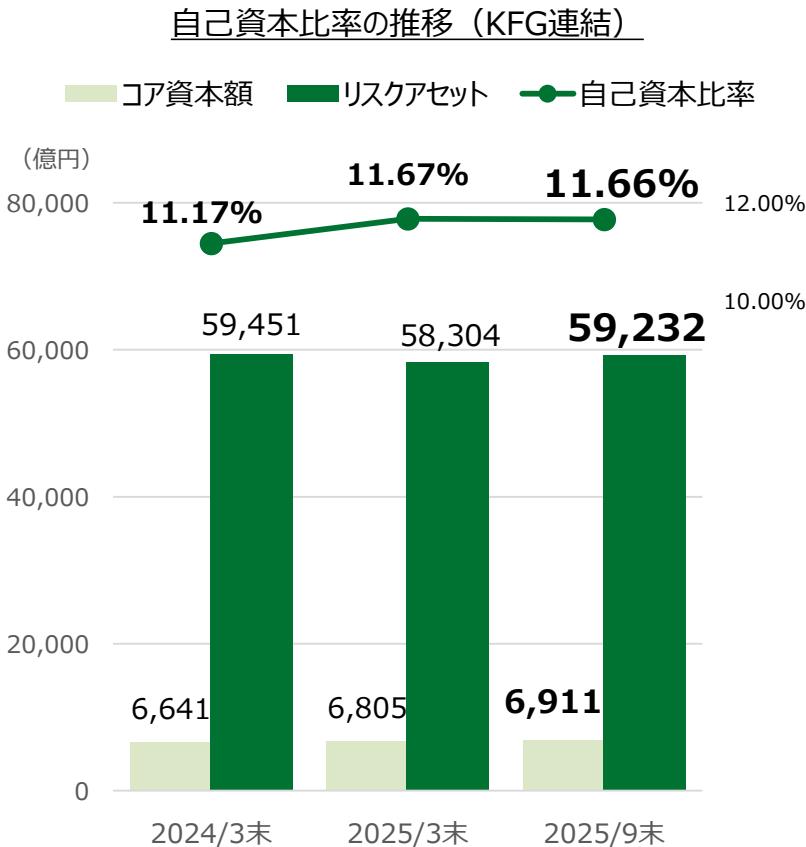
与信費用の推移（2行合算）



金融再生法開示債権の推移（2行合算）



### 自己資本比率は、リスクアセット増加により年度末比0.01%低下



## 13. 業績予想

九州フィナンシャルグループ

### 2026年3月期の連結当期純利益は、350億円と実質過去最高益を見込む

#### 2026年3月期業績予想（KFG連結）

KFG連結	2025/3 (実績)	2026/3 (業績予想) ※	増減
経常利益	429	505	+ 76
当期純利益	303	350	+ 47

#### 2026年3月期業績予想（2行合算）

2行合算	2025/3 (実績)	2026/3 (業績予想) ※			増減
		2行合算	肥後	鹿児島	
経常利益	416	500	250	250	+ 84
当期純利益	298	350	175	175	+ 52
与信費用	21	35	15	20	+ 14

※2024年11月5日、業績予想上方修正後の計数



# 資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた取り組み

株式会社九州フィナンシャルグループ

Kyushu Financial Group, Inc.

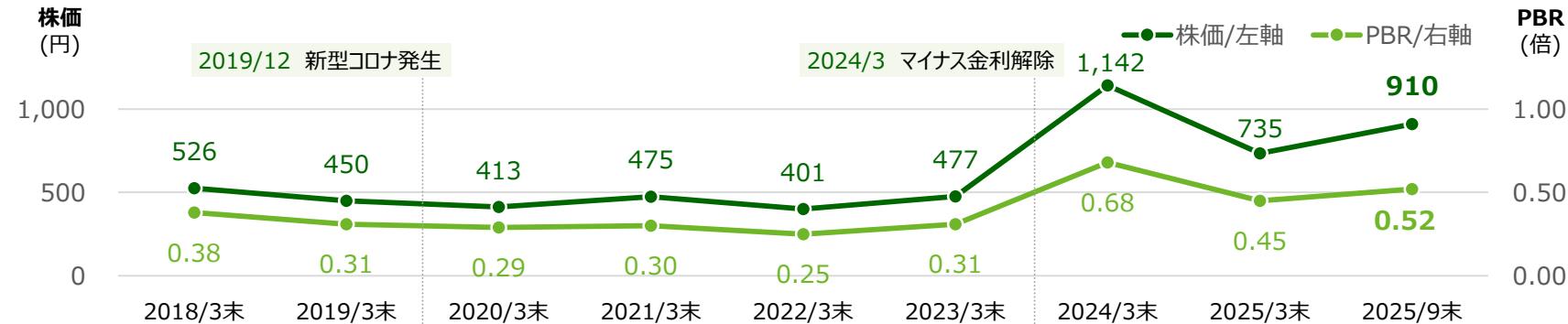


# 1. 現状分析（当社株価・PBR・ROEの推移）

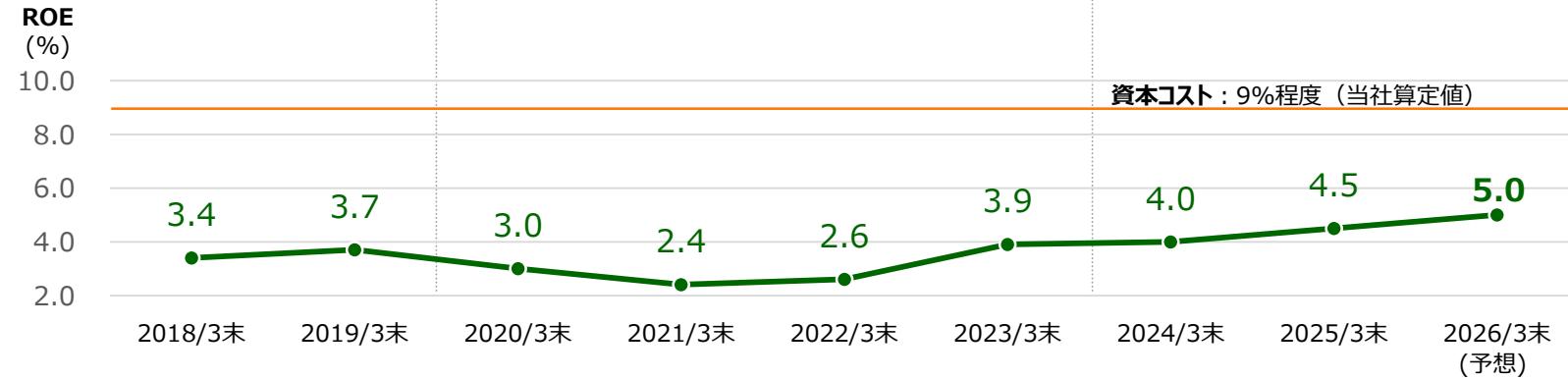
九州フィナンシャルグループ

## PBR・ROE共に上昇傾向、資本コストや株価を意識した経営に引き続き注力

株価とPBRの推移



ROEの推移



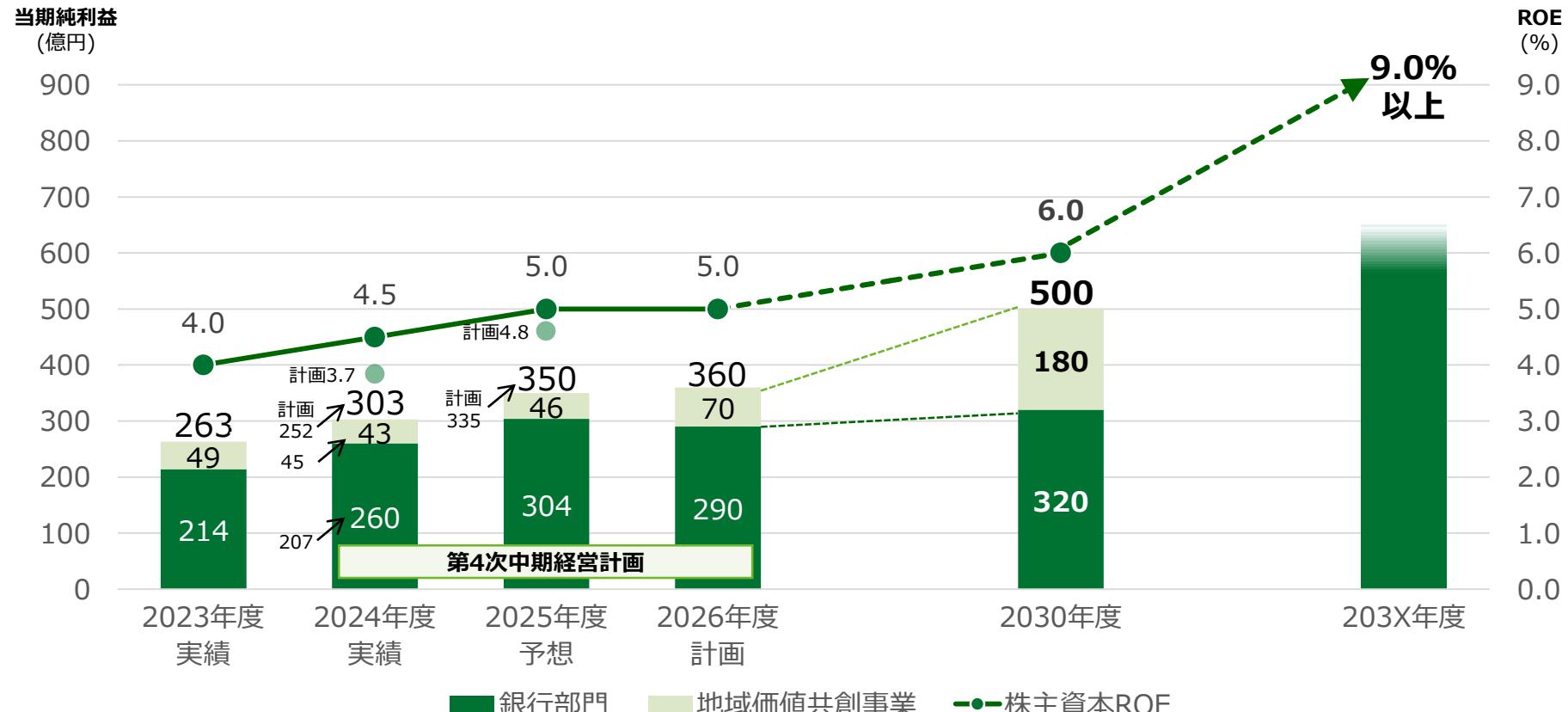
当期純利益 (億円)

↑193 ↑222 ↓182 ↓150 ↑166 ↑246 ↑263 ↑303 ↑350

## 2. 当社グループが目指す姿（利益・ROE向上）

九州フィナンシャルグループ

収益力の強化により、資本コストに見合うROE9%以上の早期実現を目指す



## 2025年度計画に対する進捗は概ね良好に推移

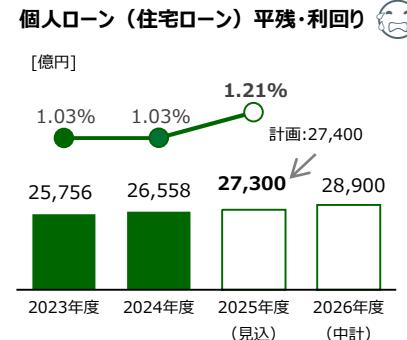
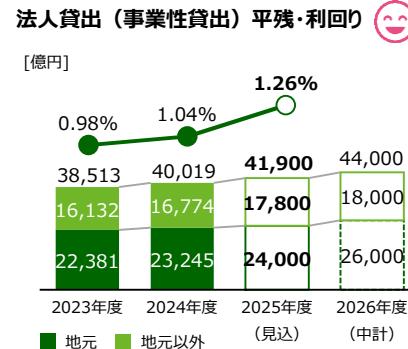
		主要KPI	24年度実績	25年度計画	25年度見込	評価		
ROE 向上  25年度計画 4.5%	収益力強化	コア事業である法人貸出 および個人ローンの増強	事業性貸出平残	40,019億円	41,700億円	41,900億円	😊	
		役務取引の強化	住宅ローン平残	26,558億円	27,400億円	27,300億円	😊	
			法人ソリューション等手数料	29億円	33億円	35億円	😊	
		コスト コントロール	預り資産関連手数料	43億円	43億円	44億円	😊	
			経費コントロール	OHR	74.9%	66.2%	😊	
	資本の 有効活用	与信費用コントロール	与信費用比率	0.02%	0.04%程度	0.03%	😊	
		リスクアセット コントロール	自己資本比率 目標レンジ内コントロール	自己資本比率	11.6%	10~11%	11%台後半	😊
		株主還元の 充実	リスクアセットの削減 (政策投資の削減)	政策保有株式（連結純 資産に対する比率）	2.6%	3年で 2%台前半	3年で 2%台前半	😊
			新規事業投資 (地域価値共創事業)	新規事業投資 (累計額)	—	—	—	—
		業績連動型の配当	配当性向	29.9%	30%程度	30.7%	😊	
PER 向上	財務レバレッジ コントロール	適時適切な自己株式取得	自己株式取得 総還元性向	—	適時適切な 取得	100億円 61.7%	😊	
		業績ボラティリティの改善	業績予想と純利益の乖離	+6.5%	±30%以内	中間+9.4%	😊	
	事業リスク 低減	ESG評価の向上 サステナビリティ経営の実践	FTSE ESGスコア (ガバナンス)	世界平均比 ▲0.3P	銀行セクター 世界平均以上	世界平均比 ▲0.3P	😊	
		地域経済の 活性化	地域価値共創事業収益	43億円	45億円	46億円	😊	

## 4. ROEおよびPER向上施策の取り組み状況①

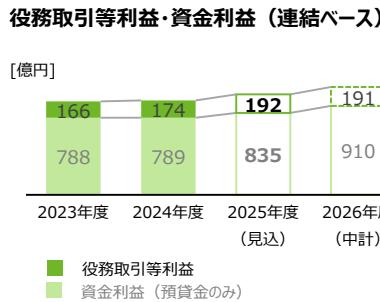
九州フィナンシャルグループ

### 貸出・役務共に概ね順調に推移。自己資本比率は最終年度レンジ内着地を目指す

#### コア事業の強化



#### 役務取引の強化 😊



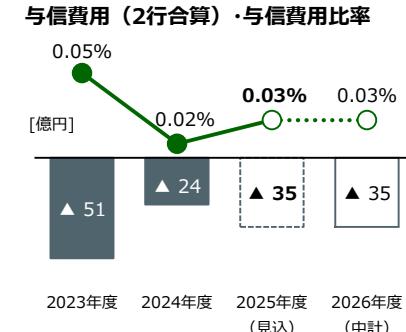
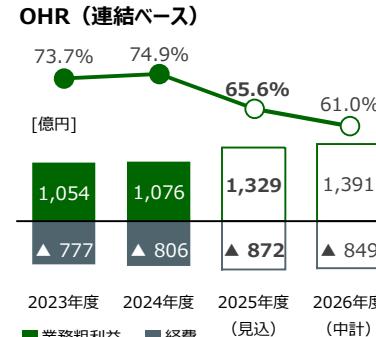
#### 法人ソリューション等手数料（2行合算）



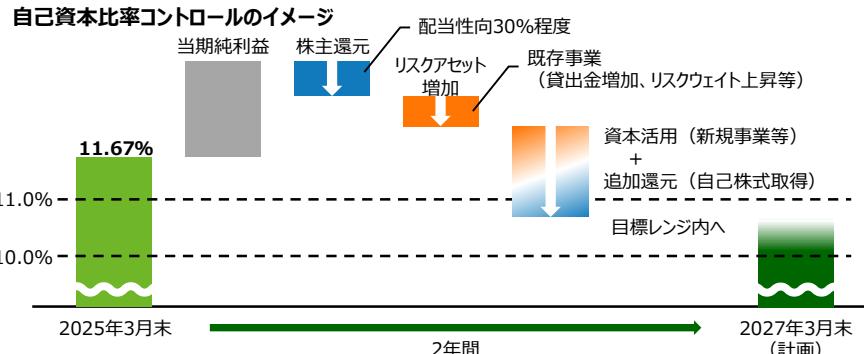
#### 預り資産関連手数料（2行合算+証券）



#### 経費コントロール・与信費用コントロール 😊



#### リスクアセットコントロール 😐



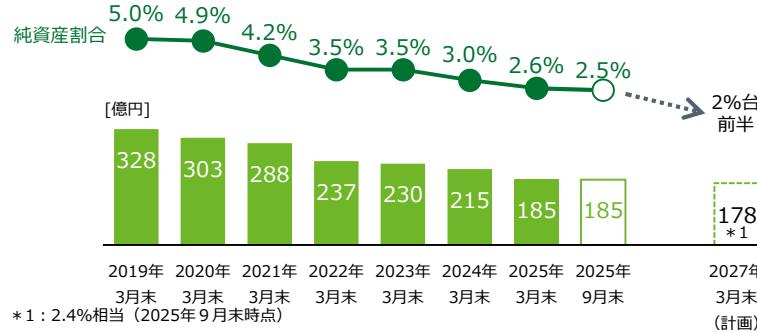
## 5. ROEおよびPER向上施策の取り組み状況②

九州フィナンシャルグループ

### 政策株の縮減は着実に進捗。増益による増配、自己株式取得により株主還元を充実

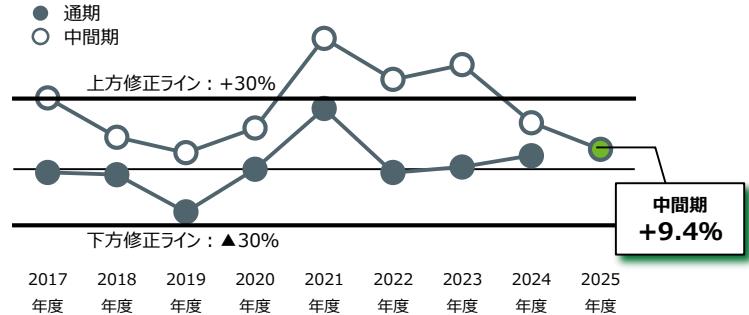
#### 政策投資株式の縮減 😊

政策投資株式（2行合算・取得簿価ベース）の推移



#### 業績ボラティリティの改善 😊

業績予想に対する純利益の乖離率



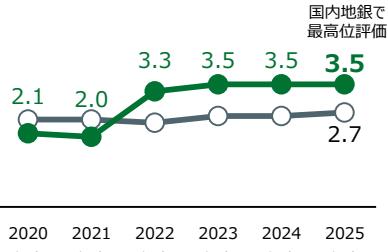
#### 株主還元 😊

株主還元の推移

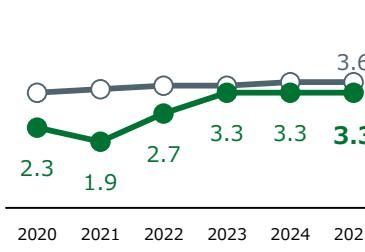


#### ESG評価の向上 😊

【参考】FTSE ESGスコア（総合）



FTSE ESGスコア（ガバナンス）



● 当社 ○ 銀行セクター世界平均



# 第4次グループ中期経営計画「躍進」 の進捗状況

株式会社九州フィナンシャルグループ  
Kyushu Financial Group, Inc.



# 5. 2030年に目指す「共創ビジョン」

九州フィナンシャルグループ

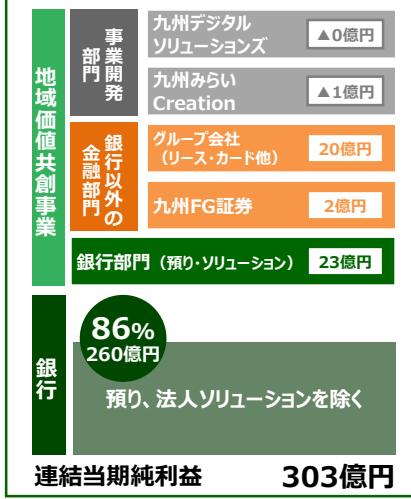
2030年度  
(共創ビジョン)

グループ会社等

銀行

2024年度  
(実績)

14%  
43億円

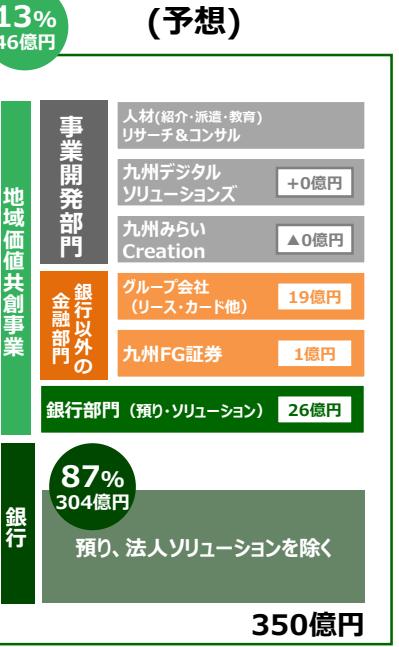


86%

260億円  
預り、法人ソリューションを除く

13%  
46億円

2025年度  
(予想)

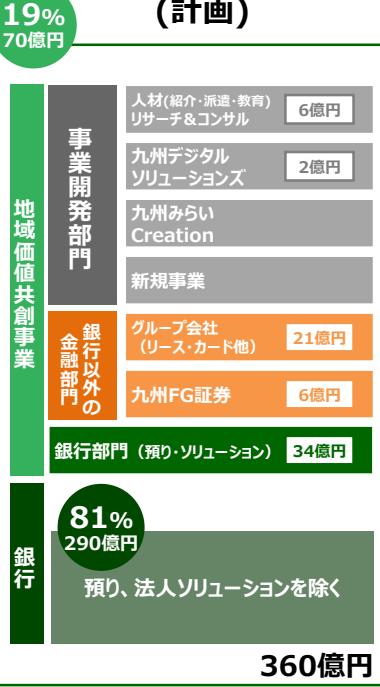


87%

304億円  
預り、法人ソリューションを除く

19%  
70億円

2026年度  
(計画)

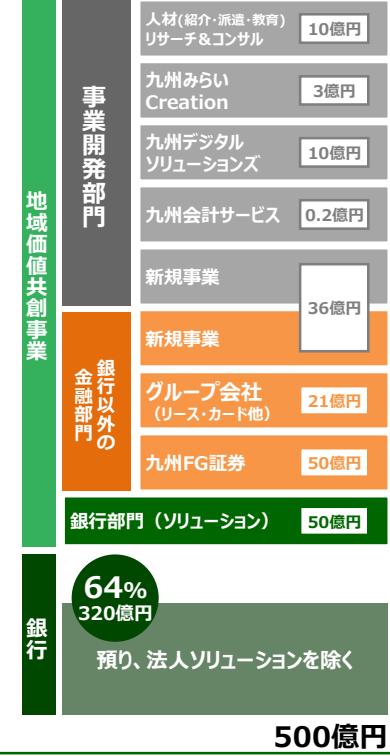


81%

290億円  
預り、法人ソリューションを除く

36%  
180億円

2030年度  
(共創ビジョン)



# 第4次グループ中期経営計画「躍進」(2024年4月～2027年3月)

## 基本方針

## 地域価値共創グループ実現へ向けての躍進

### 1. 未来を創る地域価値提供の取り組み加速

#### 戦略の柱

- ①新たな事業への挑戦・事業領域の拡充
- ②地域・お客さま起点のソリューション提供

### 2. 地域経済の成長に向けたコア事業の強化

#### 戦略の柱

- ①地域産業の成長支援強化
- ②ライフプランコンサルティングの深化

### 3. 持続的成長に向けた強固な経営基盤の確立

#### 基本戦略

#### 戦略の柱

- ①人的資本経営の実践による社員価値向上
- ②GX・DXにかかる先進的な取り組み
- ③KFGビジネスモデルの変革

### 3. 【基本戦略 1】地域経済の成長に向けたコア事業の強化

九州フィナンシャルグループ

#### 戦略の柱①

#### 地域産業の成長支援強化

##### 半導体産業への取り組み

###### 電子デバイス関連産業向け貸出金

貸出金推移（2025.9末時点）

累計実績（※） 3,078億円

（※）2022/4より

1,003

実績  
2023年度

1,179

実績  
2024年度

1,635

計画  
2025年度

869

計画  
2026年度

469

（億円）

見込  
実績

計画  
2026年度

###### TSMCサプライチェーン参入支援件数

支援実績（2025.9末時点）

累計実績 19件

11

実績  
2024年度

15

計画  
2025年度

25

計画  
2026年度

（件）

実績

計画  
2026年度

###### 海外からの進出企業の状況

進出企業数および肥後銀行の口座開設数（2025.9時点）

###### 熊本への進出企業

104社（※）

（※）肥後銀行調べ

###### 口座開設数

61社

###### 電子デバイス関連産業支援に向けた連携状況

###### ● 北洋銀行との連携・協力

2025.9発表

北洋銀行（本店：北海道札幌市）と半導体サプライチェーン構築に係る連携・協力に関する覚書を締結



###### ● Q-BASS（九州・沖縄地銀連携協定）の取り組み

経済産業省の「令和7年度中小企業に対する支援機関等のGX支援体制強化事業」に採択



2025.9発表

### 3. 【基本戦略 1】地域経済の成長に向けたコア事業の強化

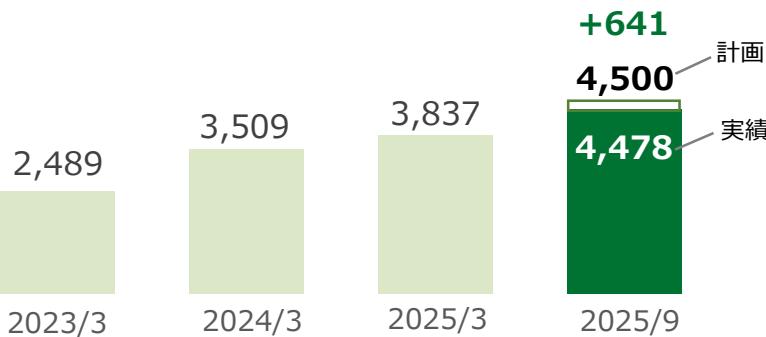
九州フィナンシャルグループ

#### 戦略の柱②

#### ライフプランコンサルティングの深化

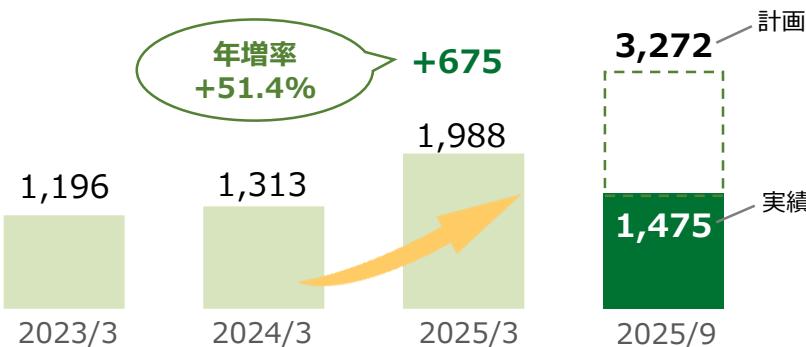
##### 預り資産残高推移（九州FG証券）

(億円)



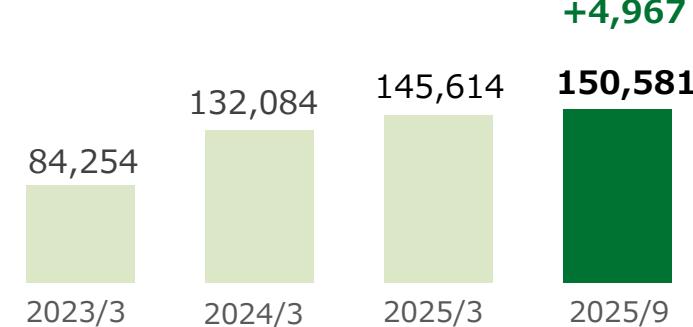
##### 信託業務契約推移 九州地銀初 信託業務開始 (件)

(件)



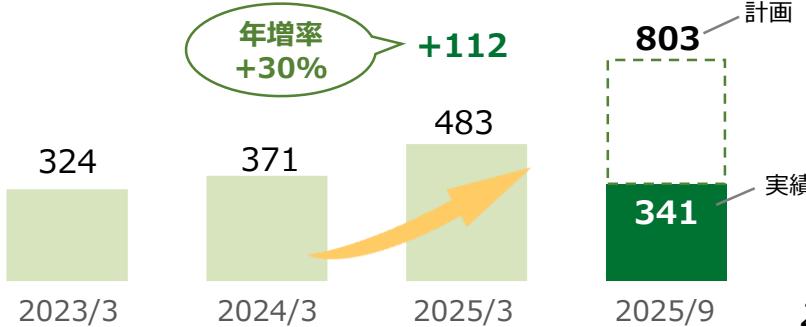
##### NISA口座数推移

(口座)



##### 信託役務収益推移

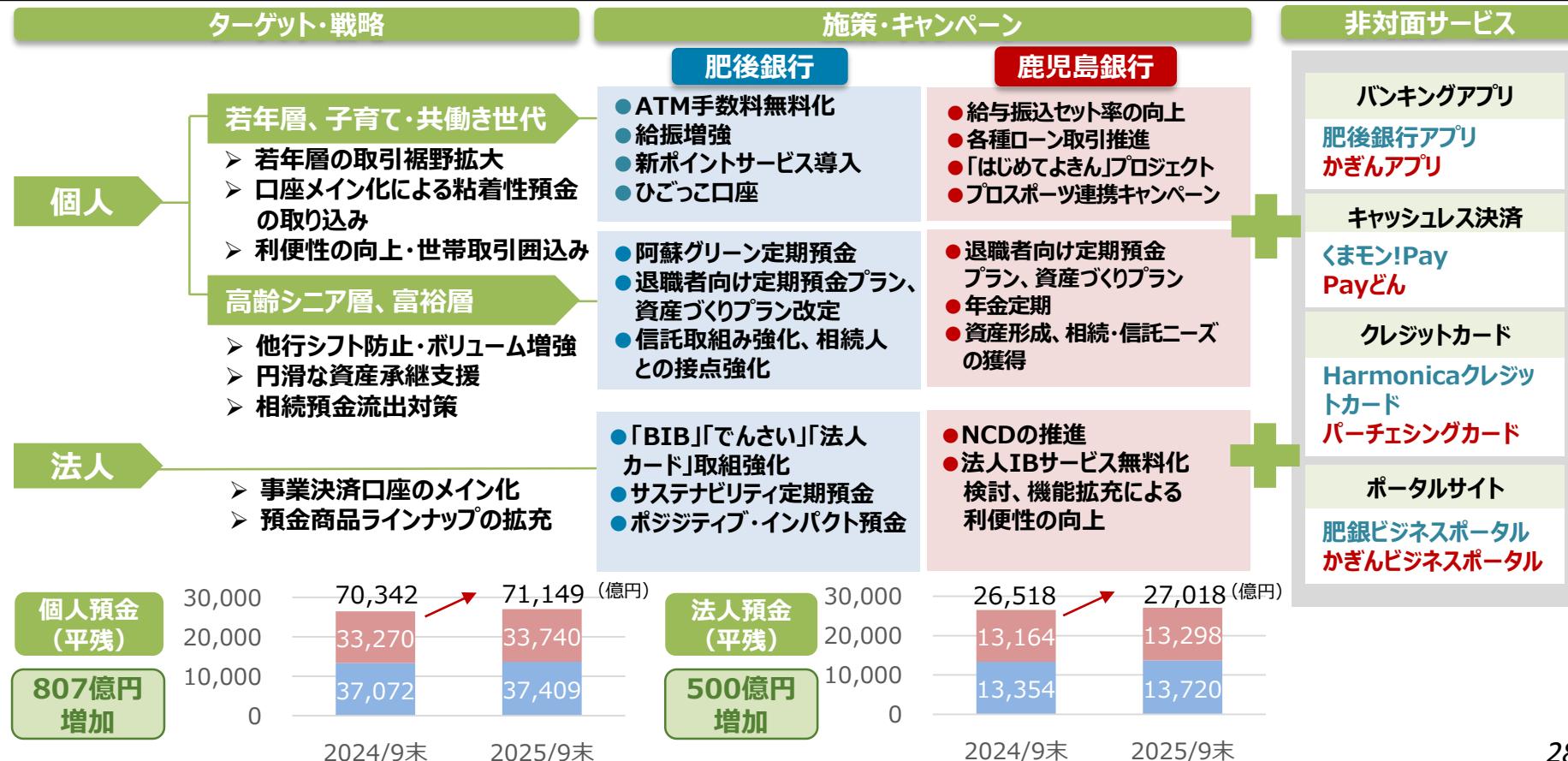
(百万円)



### 3. 【基本戦略 1】地域経済の成長に向けたコア事業の強化

九州フィナンシャルグループ

#### 個人・法人ともに預金口座のメイン化を推進し、粘着性預金の獲得・増強を図る



# 4. 【基本戦略2】未来を創る地域価値提供の取り組み加速

九州フィナンシャルグループ

## 戦略の柱①

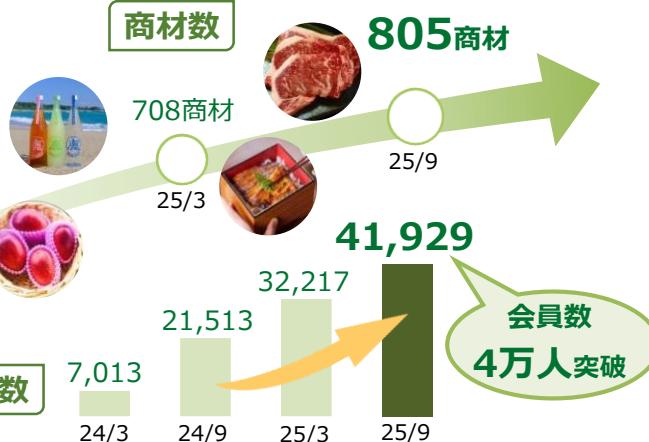
### 新たな事業への挑戦・事業領域の拡充

#### 地域商社「九州みらいCreation」の取り組み

#### ECモール「よかもーる」

2023.6開始

南九州のイイもの大集合!  
**よかもーる**



#### ふるさと納税サイト「ふるさと一番」

2025.10開始

ふるさと納税ポータルサイト  
「ふるさと一番」の運営を開始



## 戦略の柱②

### 地域・お客さま起点のソリューション提供

#### 地域のロス解消への取り組み

肥後銀行

2025.2開始

#### 地域のロス解消事業「かせする」

- 地域で発生するフードロス・在庫ロス・設備ロス解消の取り組み

ユーザー登録数

16,014人

店舗加盟数

345店舗

※2025年11月末



地域のロス解消  
プラットフォーム  
「かせする」

#### 地域デジタル化への取り組み

鹿児島銀行

2025.6発表

#### デジタル関連事業会社「パステムソリューションズ」の子会社化

- 地域、お客さまに対するデジタル化支援の体制強化の取り組み
- 従来の金融の枠を超えたデジタルソリューション分野の事業拡大を図る

※現在当局審査中

#### 地域価値向上への取り組み

肥後銀行

2025.10設立

#### 健康経営事業子会社「九州健康経営ラボ」の設立

- 健康経営への豊富なノウハウを生かし、地域における健康経営を促進
- 銀行子会社としては全国で初の取り組み

# 5. 【基本戦略3】持続的成長に向けた強固な経営基盤の確立

九州フィナンシャルグループ

## 戦略の柱①

### 人的資本経営の実践による社員価値向上

#### 賃上げ・初任給改定

3年連続で定期昇給およびベースアップによる5%以上の賃上げ方針（2025年度）を決定、2026年4月も初任給を引上げ予定  
(単位：円)

	2025年度 賃上げ率	2022年 4月	2023年 4月	2024年 4月	2025年 4月	2026年 4月
K F G	約5.1%	250,500	270,000	280,000	300,000	310,000
肥後銀行	約5.7%	205,000	220,000	240,000	260,000	270,000
鹿児島銀行	約5.5%	205,000	220,000	240,000	260,000	270,000

※初任給:大卒・エリアフリーの場合

#### 多様性の尊重

##### 女性管理職比率

**15.0%** ※2025年3月末

※正規雇用男性従業員の平均賃金に対する  
正規雇用女性従業員の平均賃金の割合

##### 正規雇用男女間賃金差異

肥後銀行

64.5%

鹿児島銀行

56.1%

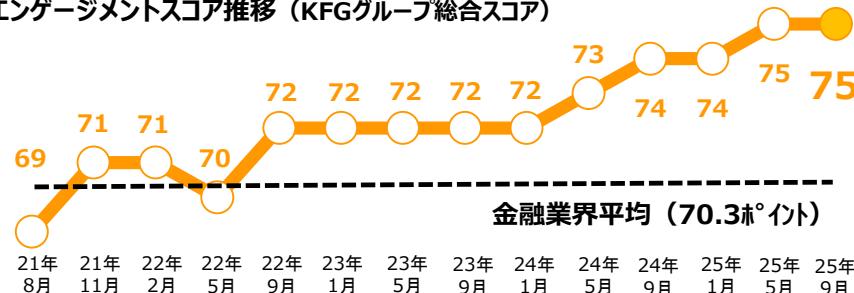
#### <女性活躍推進に向けた対応策>

- ・管理職登用の早期化のための育成施策の強化
- ・管理職ポストへのキャリア採用
- ・法人営業や本部企画セクションへの積極配置
- ・役席時のジョブローテーション等、女性管理職モデルの多様化 等

#### 業界平均を上回るエンゲージメント

従業員のエンゲージメント調査スコアは、グループ全体で75ポイント  
→金融業界平均70.3ポイントを上回り良好

##### エンゲージメントスコア推移 (KFGグループ総合スコア)



金融業界平均 (70.3ポイント)

※エンゲージメントサーベイ「Wevox」利用 業界平均は、アトラエ社調べ

#### 人権意識の醸成に向けた取り組み

- ・人権デュー・デリジェンスの一環として、職場における人権尊重の状況を把握するため「人権に関する職場環境調査」を実施
- ・調査を通じて、ハラスメントや差別的言動、過度なプレッシャーの防止、心理的安全性の確保など、グループ内の人権意識を醸成

# 5. 【基本戦略3】持続的成長に向けた強固な経営基盤の確立

九州フィナンシャルグループ

## 戦略の柱②

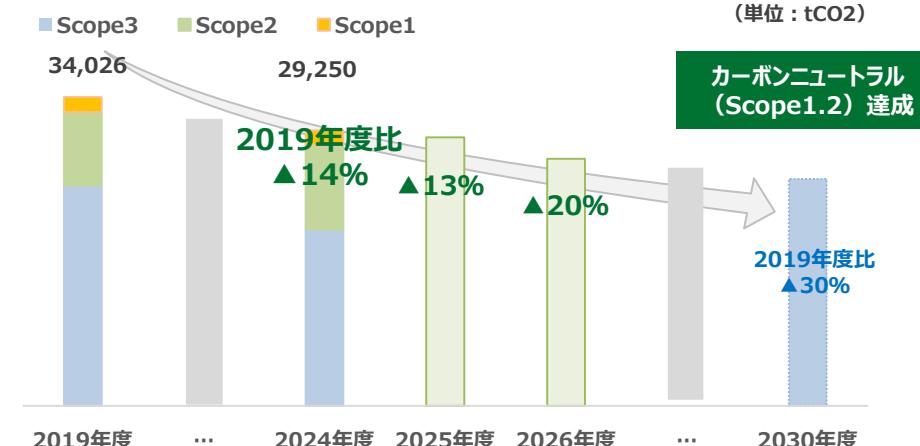
## GXにかかる先進的な取り組み

### カーボンニュートラルロードマップの遂行

- 移行計画に基づき、電力使用量の削減や再エネプランへの見直しなど削減への取り組みを実施

#### CO<sub>2</sub>排出量削減目標（2019年度比）

[KPI] 2026年度までに▲20% 2024年度実績▲14%



※算定範囲：当社、肥後銀行、鹿児島銀行

目標対象：Scope1、Scope2、Scope3のカテゴリー1（一部除外）、3、4、5、12

### ESG投融資の増強

- 投融資を通じて、地域経済の持続的成長、気候変動対策に貢献

#### ESG投融資累計実行額

2021年度～2030年度累計 1兆円 (うち環境関連2,000億円)

[KPI] 2024年～2026年度累計実行額 8,500億円  
[実績] 2024年～2025年度 (※) 累計実行額 7,076億円



#### 【直近の取り組み状況】

2025/7	サステナビリティ・リンク・ローン、ソーシャルローン、グリーンローン（鹿児島銀行）
2025/11	ひぎんカーボンニュートラル・リンク・ローン（肥後銀行）

# 5. 【基本戦略3】持続的成長に向けた強固な経営基盤の確立

九州フィナンシャルグループ

## 戦略の柱②

## GXにかかる先進的な取り組み

### 地域・お客様の脱炭素化に向けた取り組み

肥後銀行

### 「Zero-Carbon-System（炭削くん）」による脱炭素経営促進

鹿児島銀行

#### 特徴



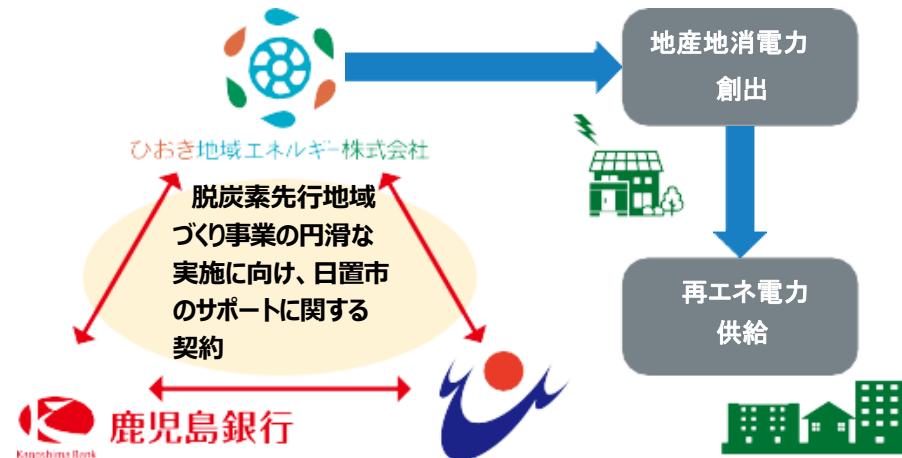
- サプライチェーン全体のCO2排出量を簡単に算定可能
- 金融機関の独自開発サービスとして、可視化～削減までトータルサポート

#### 「炭削くん」の歩み



### 「脱炭素先行地域における取り組み事例」 地方創生×脱炭素化

- 鹿児島県日置市における地域の「脱炭素化」の実現に向けて、鹿児島銀行は、日置市、事業運営主体の「ひおき地域エネルギー(株)」との事業サポート契約を締結
- 事業計画策定段階から関係者と協議を重ね、一貫して支援を実施するなど地域のGXを推進



# 5. 【基本戦略3】持続的成長に向けた強固な経営基盤の確立

九州フィナンシャルグループ

## 戦略の柱②

## GXにかかる先進的な取り組み

### 自然資本・生物多様性に関する取り組みや方針

- 脱炭素社会・自然資本の保全と回復への貢献を推進するとともに、情報開示の拡充に努め、持続可能な地域社会の実現を目指す

- 2020年12月 「環境方針」制定
- 2022年8月 「TNFDフォーラム」参画
- 2024年1月 「TNFD Adopter」へ登録
- 2024年4月 「生物多様性保全方針」制定
- 2025年7月 TNFDのフレームワークに沿った開示開始

#### 2025年7月 環境省支援プログラムへの採択

「令和7年度脱炭素社会実現に向けた自然関連情報分析実践プログラム」

##### 概要

TNFDフレームワークを参考に、融資ポートフォリオにおける自然関連の依存・インパクト・リスク・機会の分析を通じて、気候変動対策と自然課題の対策の関係性を整理し、自然資本対応を推進することを目的としたプログラム

#### 2025年11月 「ネイチャーポジティブ宣言」公表

環境省が事務局を務めるJ-GBF（2030生物多様性枠組実現日本会議）の趣旨に賛同しネイチャーポジティブ宣言を公表



肥後銀行

### 水保全への取り組み

- 地域のお客様、行政と連携し、熊本の地下水保全を始めとする自然共生の取り組みを深化させ、持続可能な地域経済の実現に貢献

2025年11月、肥後銀行の水保全に関わる取り組み「自然資本と共に生きる新しい地域価値共創」が、プラチナ構想ネットワーク主催の「第13回プラチナ大賞」の「優秀賞・サステナビリティ向上賞」を受賞

#### 水保全への取り組み

##### 肥後銀行の地下水涵養・保全活動

- ◆ 「阿蘇大観の森」での植樹
- ◆ 「阿蘇水掛の棚田」での稻作



プラチナ大賞表彰式

##### 産学金連携による水循環の保全活動

- ◆ 地域共創流域治水を中心とした復旧・復興
- ◆ 「雨庭」などのグリーンインフラの設置  
➤ 「熊本ウォーター・ポジティブ・アクション」



アマモ場再生の様子

##### アマモ場の再生とブルーカーボンの創出

- ◆ 熊本県内で初となる「J ブルーカレジット」31トンの認証を取得
- ◆ アマモが吸収する CO<sub>2</sub>の「見える化」と「価値化」を実現

# 5. 【基本戦略3】持続的成長に向けた強固な経営基盤の確立

九州フィナンシャルグループ

## 戦略の柱②

### GX・DXにかかる先進的な取り組み

#### DXへの取り組み

#### 地域DX推進

##### Hugmeg (ハグメグ)

KFG

- ◆ 地域価値共創アプリ
- ◆ 金融サービス、暮らしに役立つ情報発信



##### KDS学校会計クラウド

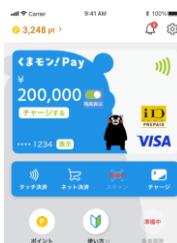
九州デジタルソリューションズ

- ◆ 学校徴収金管理システム
- ◆ 熊本県（68校）福岡県（95校）高知県（49校）へ導入

##### くまモン!Pay

肥後銀行

- ◆ キャッシュレス決済アプリ
- ◆ QR決済（2026年3月末）
- ◆ デジタル商品券機能（同8月）



「iD」ロゴ及び「iD プライベート」は株式会社NTTドコモの登録商標です。  
©2010熊本県くまモン#K36295

##### Payどん

鹿児島銀行

- ◆ キャッシュレス決済アプリ（QR決済）
- ◆ 鹿児島県内4金融機関での共同運営
- ◆ 地域振興券事業等40件受託（2024年度）



#### 次世代システム群の整備

- ◆ 基幹系システムを含むデジタル基盤を総合的に整備し、最新アーキテクチャへ更改する計画を策定中

#### 2025年度中に、OHR低減・価値創造を可能にする具体案策定

- ◆ システム統合の範囲
- ◆ 自営開発の範囲
- ◆ 移行・運用コスト

グループ全体最適な  
次世代システム群

- ◆ 顧客影響・業務影響
- ◆ システム開発・運営態勢
- ◆ 移行タイミング 他

#### AI活用推進

##### AI専門部署を設立（2025年10月）

###### KFG AI統括室

- ・グループのAI化を戦略的に推進し、AI活用を統括

###### 肥後・鹿児島 AIソリューションズ

- ・AIを活用した業務プロセス改革、AIの内製化開発を担う

#### AI活用事例

肥後銀行

鹿児島銀行

- ◆ 生成AI活用による業務効率化
- ◆ 顧客面談内容をリアルタイムでテキスト化してCRMへ連携
- ◆ 業務支援チャットボットの拡大



# 計数資料

株式会社九州フィナンシャルグループ

Kyushu Financial Group, Inc.



# 1. 決算概況

## 【肥後銀行】

- ・ 業務粗利益は、資金利益の増加等により、前年同期比+45億円の301億円となった。
- ・ 経常利益は、業務粗利益の増加等により、前年同期比+33億円の141億円となった。
- ・ 中間純利益は、前年同期比+24億円の100億円となった。

## 肥後銀行 損益状況

(億円)

損益状況	肥後銀行		
	2025/9	前年同期比	2024/9
経常収益	540	46	493
業務粗利益	301	45	256
資金利益	283	31	251
役務取引等利益	37	0	37
その他業務利益	▲ 18	13	▲ 32
(うち国債等債券損益)	▲ 0	▲ 2	1
経費（▲）	202	11	191
コア業務純益	100	36	63
一般貸倒引当金繰入額（▲）	▲ 3	▲ 3	－
業務純益	102	37	65
臨時損益	38	▲ 4	42
不良債権処理額(▲)	9	8	0
貸倒引当金戻入益	－	▲ 9	9
株式等関係損益	41	12	29
経常利益	141	33	107
特別損益	▲ 0	0	▲ 0
税引前中間純利益	140	33	107
中間純利益	100	24	75
(与信費用)	5	14	▲ 8

## 【鹿児島銀行】

- ・ 業務粗利益は、資金利益の増加等により、前年同期比+34億円の304億円となった。
- ・ 経常利益は、業務粗利益の増加等により、前年同期比+60億円の159億円となった。
- ・ 中間純利益は、前年同期比+42億円の111億円となった。

## 鹿児島銀行 損益状況

(億円)

損益状況	鹿児島銀行		
	2025/9	前年同期比	2024/9
経常収益	471	92	378
業務粗利益	304	34	269
資金利益	275	27	247
役務取引等利益	41	4	37
その他業務利益	▲ 12	2	▲ 15
(うち国債等債券損益)	▲ 3	▲ 3	▲ 0
経費（▲）	179	7	171
コア業務純益	128	30	98
一般貸倒引当金繰入額（▲）	－	6	▲ 6
業務純益	124	20	104
臨時損益	34	40	▲ 6
不良債権処理額(▲)	0	▲ 11	12
貸倒引当金戻入益	16	16	－
株式等関係損益	13	12	1
経常利益	159	60	98
特別損益	▲ 0	0	▲ 0
税引前中間純利益	158	61	97
中間純利益	111	42	68
(与信費用)	▲ 15	▲ 21	6

## 2. 資金利益

【肥後銀行】 283億円（前年同期比+31億円）

- ・資金調達コストは増加したものの、貸出金利息の増加等により、前年同期比+31億円となった。

【鹿児島銀行】 275億円（前年同期比+27億円）

- ・資金調達コストは増加したものの、貸出金利息の増加等により、前年同期比+27億円となった。

肥後銀行 資金利益の状況

(億円)

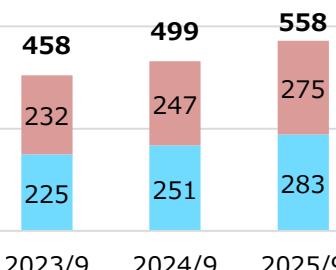
	2023/9	2024/9	2025/9	前年同期比
資金利益	225	251	283	31
国 内 部 門	203	229	254	25
うち貸出金利息	176	190	247	57
うち有価証券利息	34	43	40	▲ 2
うち資金調達コスト(▲)	9	14	54	40
国際部門	21	22	28	6
うち貸出金利息	22	24	14	▲ 9
うち有価証券利息	48	53	73	19
うち資金調達コスト等(▲)	49	55	60	4

鹿児島銀行 資金利益の状況

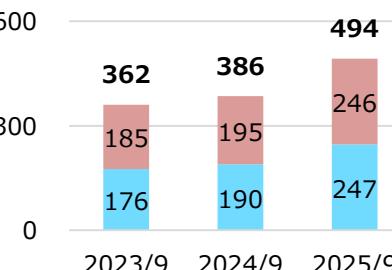
(億円)

	2023/9	2024/9	2025/9	前年同期比
資金利益	232	247	275	27
国 内 部 門	223	234	263	29
うち貸出金利息	185	195	246	50
うち有価証券利息	40	38	45	7
うち資金調達コスト(▲)	2	10	57	46
国際部門	9	13	11	▲ 1
うち貸出金利息	6	2	0	▲ 1
うち有価証券利息	23	26	21	▲ 4
うち資金調達コスト(▲)	20	15	10	▲ 4

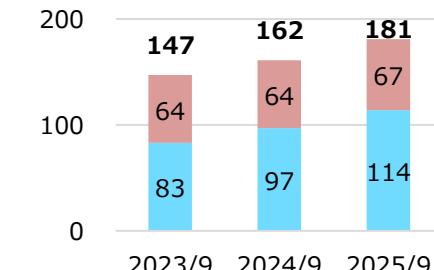
(億円) 資金利益の推移



(億円) 国内貸出金利息の推移



(億円) 有価証券利息の推移



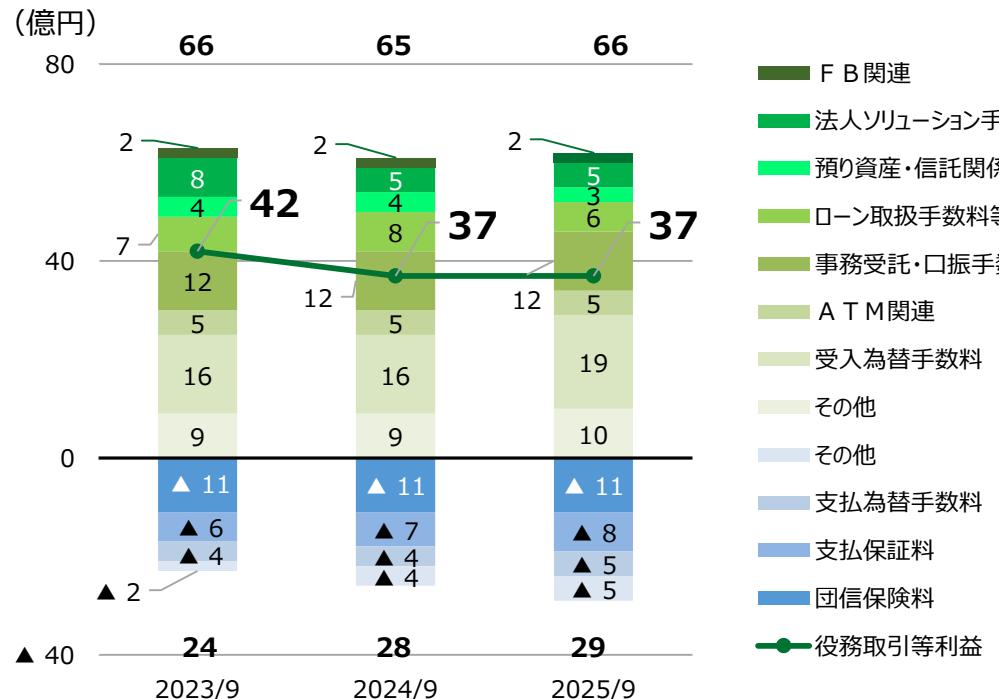
鹿児島  
肥後

### 3. 役務取引等利益

#### 【肥後銀行】

- 役務取引等利益は、受入為替手数料が増加したものの、ローン取扱手数料の減少等により、前年同期比横ばいの37億円となった。

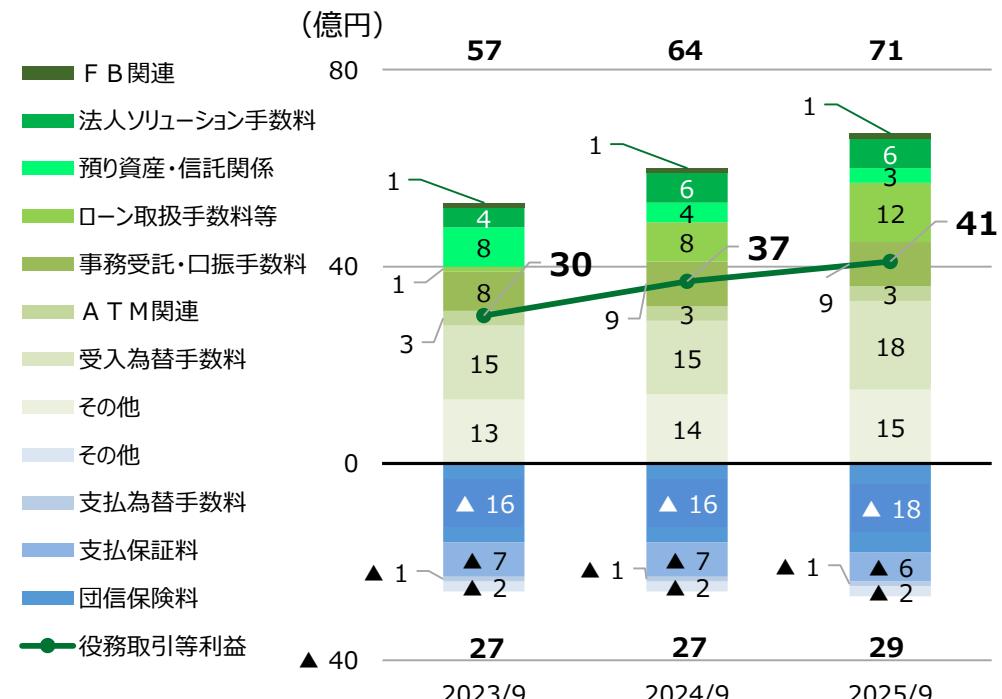
#### 肥後銀行 役務取引等利益の状況



#### 【鹿児島銀行】

- 役務取引等利益は、ローン取扱手数料の増加等により、前年同期比+4億円の41億円となった。

#### 鹿児島銀行 役務取引等利益の状況

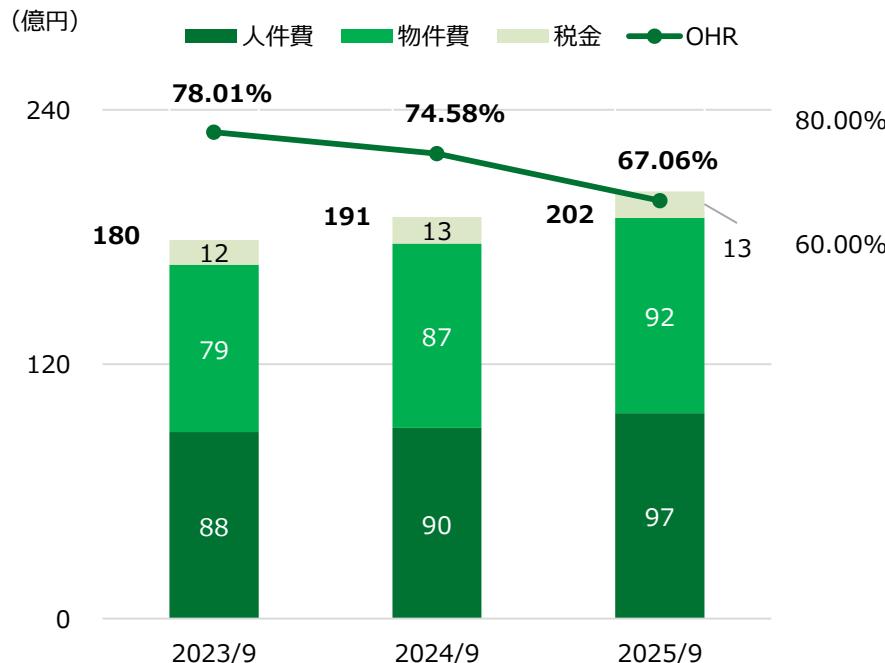


## 4. 経 費

### 【肥後銀行】

- ・ 経費は、物件費、人件費の増加等により前年同期比+11億円の202億円となった。
- ・ O H Rは、経費は増加したものの、業務粗利益の増加により、前年同期比▲7.52%の67.06%となった。

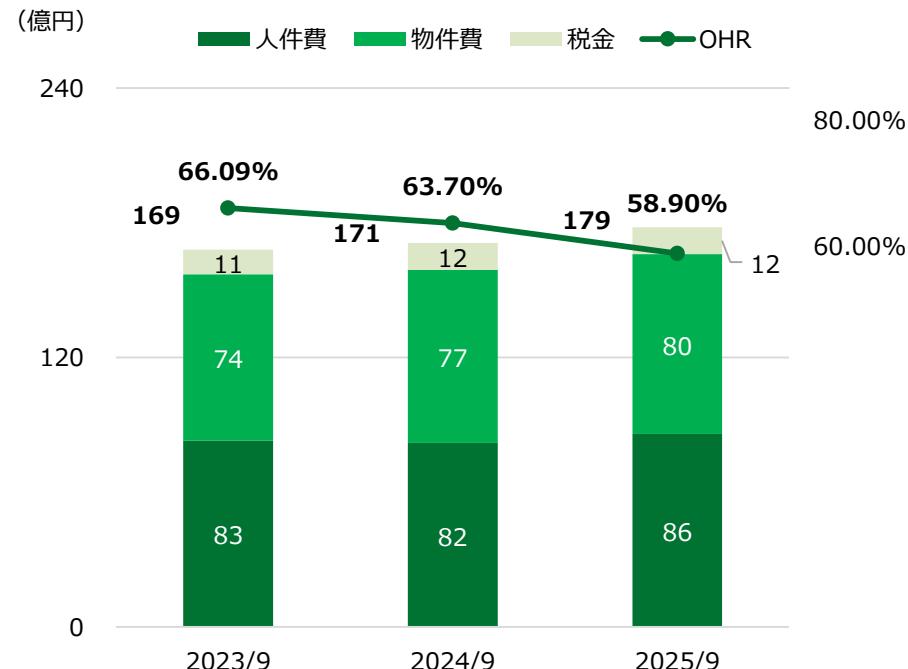
### 肥後銀行 経費の状況



### 【鹿児島銀行】

- ・ 経費は、人件費、物件費の増加等により前年同期比+7億円の179億円となった。
- ・ O H Rは、経費は増加したものの、業務粗利益の増加により、前年同期比▲4.80%の58.90%となった。

### 鹿児島銀行 経費の状況



## 5. 貸出金（平残）

### 【肥後銀行】（平残）

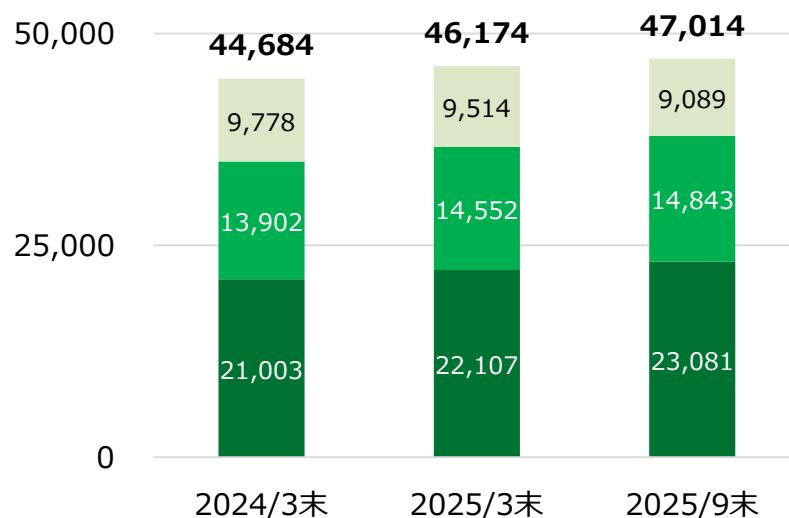
- 法人向、個人向において、貸出金平残が増加したことから、前年度末比+839億円の4兆7,014億円となった。

### 【鹿児島銀行】（平残）

- 法人向け・個人向け平残がいずれも増加したことから、前年度末比+614億円の4兆3,870億円となった。

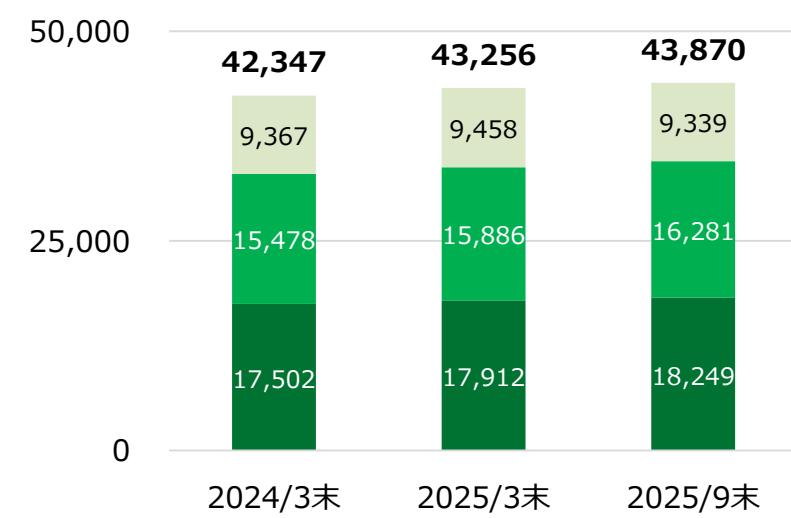
肥後銀行 平残

(億円) ■ 法人向 ■ 個人向 ■ 公共向



鹿児島銀行 平残

(億円) ■ 法人向 ■ 個人向 ■ 公共向



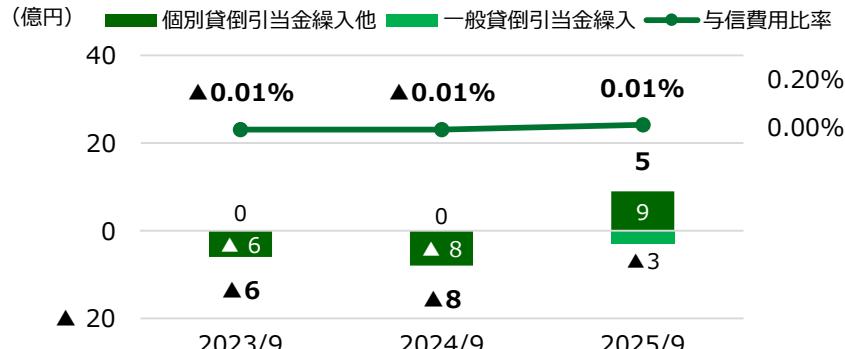
# 6. 与信費用と金融再生法開示債権

九州フィナンシャルグループ

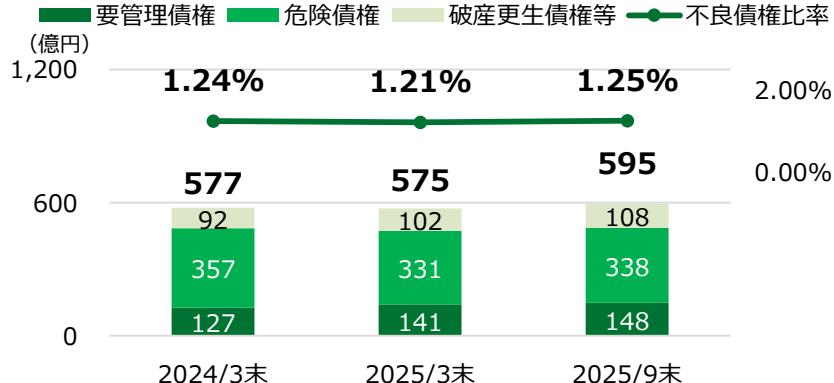
## 【肥後銀行】

- ・与信費用比率は、前年同期比+0.02%の0.01%となった。
- ・不良債権比率は、前年度末比+0.04%の1.25%となった。

### 肥後銀行 与信費用の状況



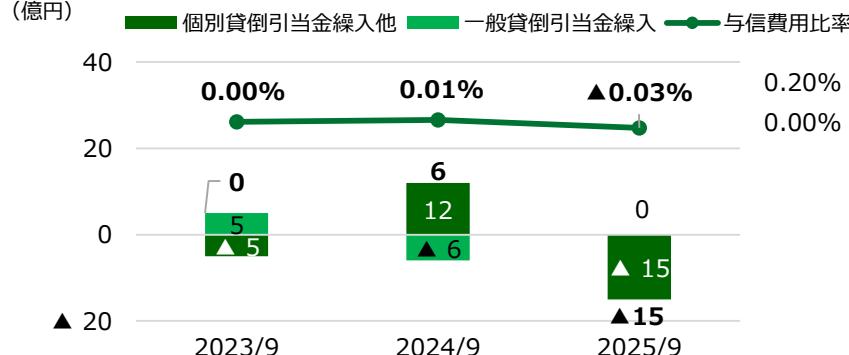
### 肥後銀行 金融再生法開示債権の状況



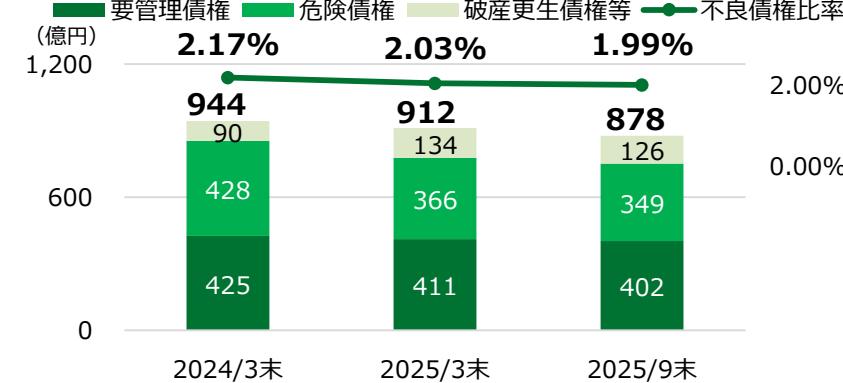
## 【鹿児島銀行】

- ・与信費用比率は、前年同期比▲0.04%の▲0.03%となった。
- ・不良債権比率は、前年度末比▲0.04%の1.99%となった。

### 鹿児島銀行 与信費用の状況



### 鹿児島銀行 金融再生法開示債権の状況



## 7. 有価証券（残高）

九州フィナンシャルグループ

### 【肥後銀行】

- ・ 有価証券残高は、株式や外債が増加したことから、前年度末比 + 176 億円の 1兆 1,150 億円となった。

### 【鹿児島銀行】

- ・ 有価証券残高は、社債、国債及び外国証券等が増加したことから、前年度末比 + 1,174 億円の 8,862 億円となった。

肥後銀行 有価証券残高の状況

(億円)

15,000

**11,435**

1,237

3,102

927

1,632

1,883

2,651

**10,974**

1,743

3,800

839

885

1,451

2,254

**11,150**

1,713

4,106

923

818

1,422

2,166

合計

その他

外債

株式

社債

地方債

国債

(億円)

15,000

鹿児島銀行 有価証券残高の状況

(億円)

15,000

**8,621**

639

1,985

900

2,154

928

2,014

**7,687**

460

1,353

750

2,590

1,126

1,407

**8,862**

435

1,514

846

3,225

1,220

1,619

2024/3末

2025/3末

2025/9末

2024/3末

2025/3末

2025/9末

## 7. 有価証券（評価損益）

九州フィナンシャルグループ

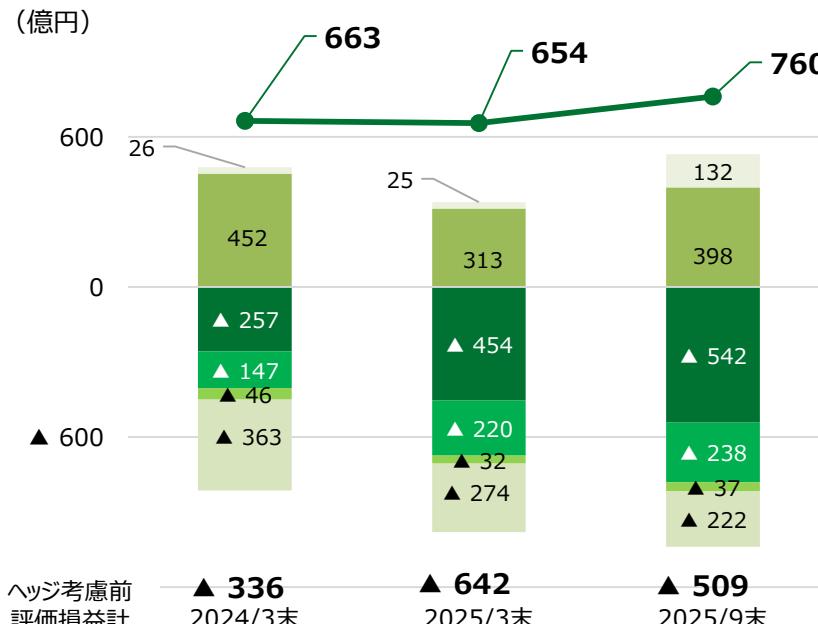
### 【肥後銀行】

- ヘッジ損益考慮後の有価証券評価損益は、251億円となった。

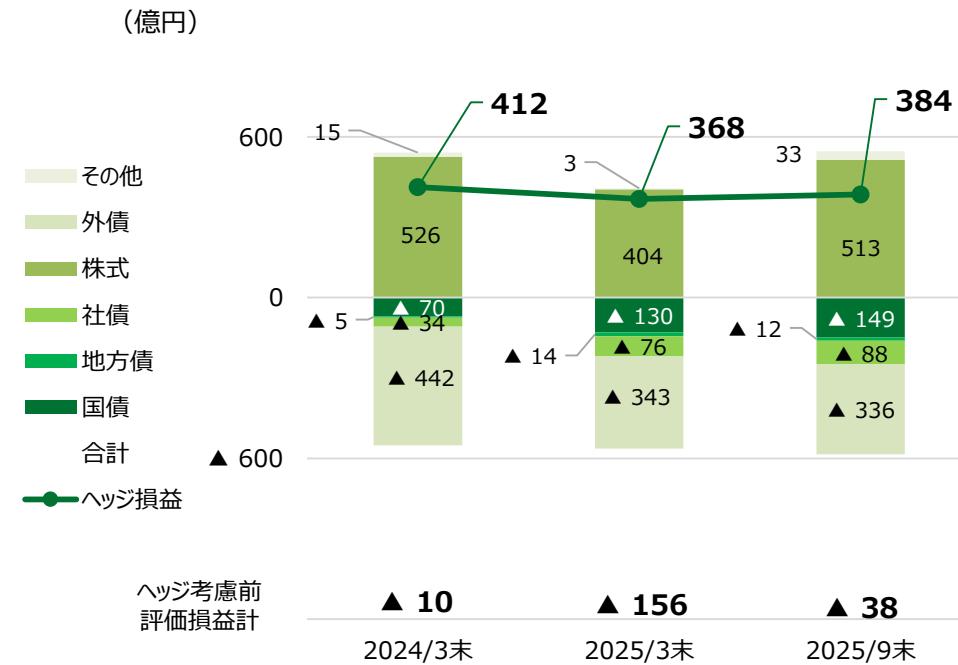
### 【鹿児島銀行】

- ヘッジ損益考慮後の有価証券評価損益は、345億円となった。

#### 肥後銀行 有価証券評価損益の状況



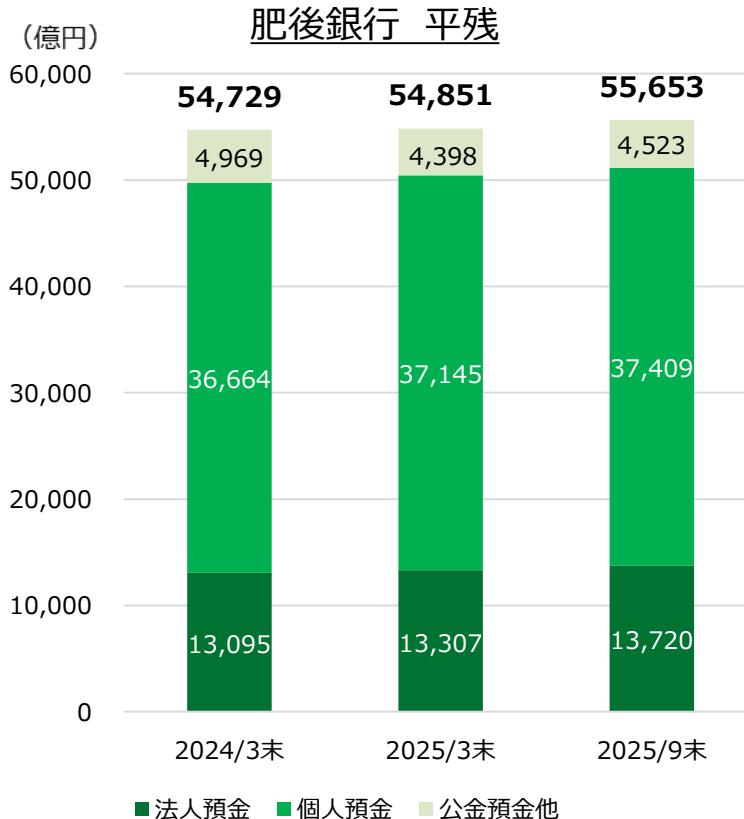
#### 鹿児島銀行 有価証券評価損益の状況



## 8. 総預金（含むNCD）（平残）

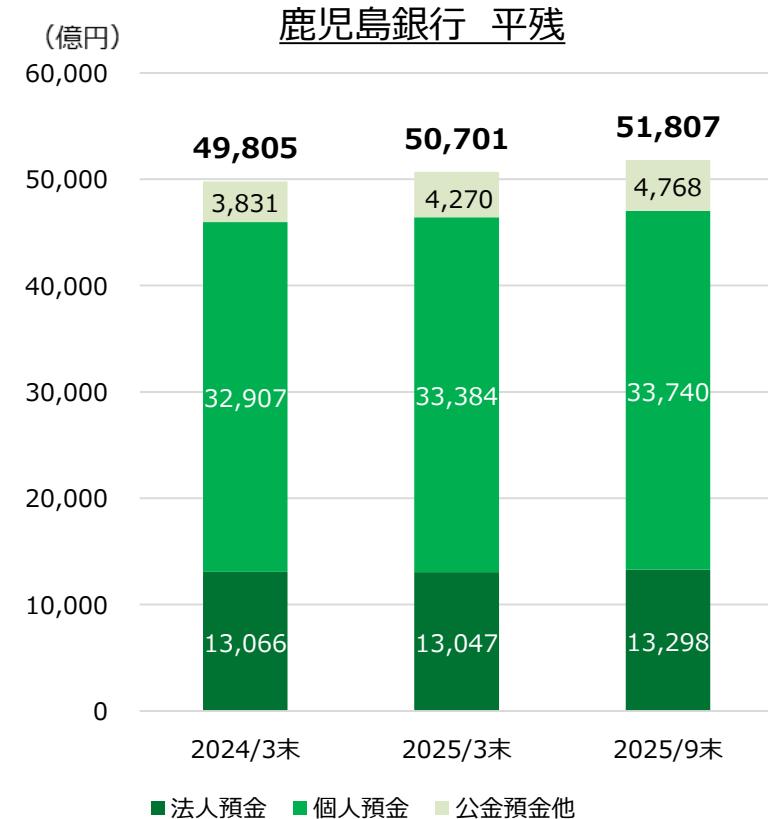
### 【肥後銀行】

- ・種別ごとの預金平残がすべて増加したことから、前年度末比+802億円の5兆5,653億円となった。



### 【鹿児島銀行】

- ・種別ごとの預金平残がすべて増加したことから、前年度末比+1,106億円の5兆1,807億円となった。



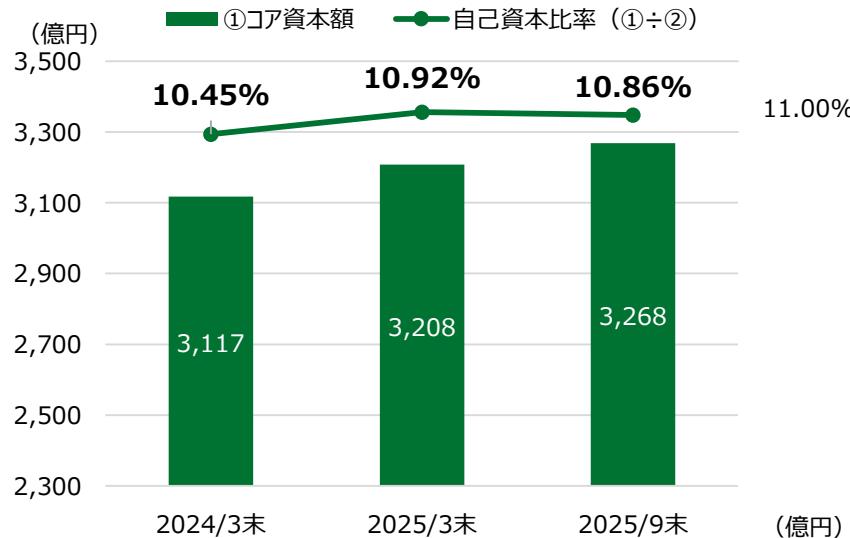
## 9. 自己資本比率

九州フィナンシャルグループ

### 【肥後銀行】

- 自己資本比率は、前年度末比▲0.06%の10.86%となった。

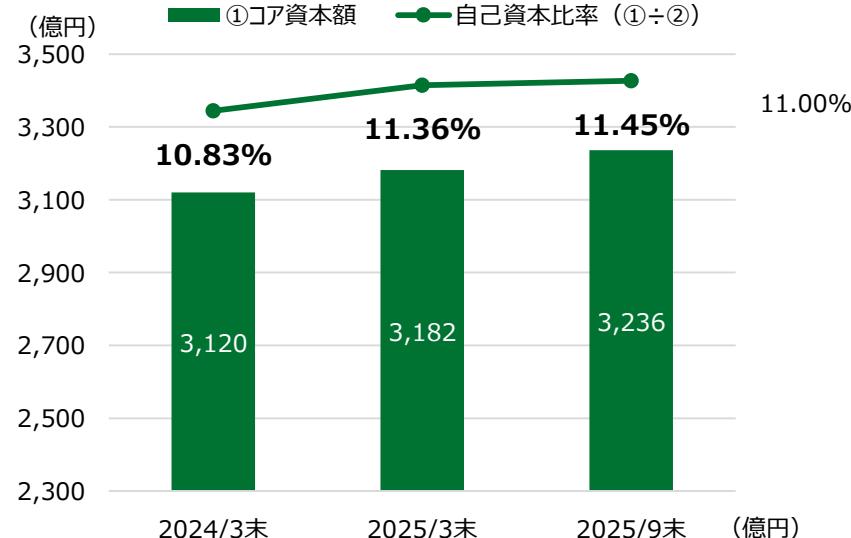
### 肥後銀行 自己資本比率の状況



### 【鹿児島銀行】

- 自己資本比率は、前年度末比+0.09%の11.45%となった。

### 鹿児島銀行 自己資本比率の状況



	2024/3末	2025/3末	2025/9末	2025/3比 増減
①コア資本額	3,117	3,208	3,268	59
②リスクアセット	29,808	29,377	30,083	706
自己資本比率 (①÷②)	10.45%	10.92%	10.86%	▲0.06%

	2024/3末	2025/3末	2025/9末	2025/3比 増減
①コア資本額	3,120	3,182	3,236	54
②リスクアセット	28,811	27,991	28,245	254
自己資本比率 (①÷②)	10.83%	11.36%	11.45%	0.09%

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化等により、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。



#### 本件に関するお問い合わせ先

株式会社 九州フィナンシャルグループ 広報・IR部

TEL 096-326-5607